3年　理系　科目一覧

	科　　目	ページ
1	現代文B	2 ・ 3
2	古典B	4 ・ 5
3	理系国語演習	6 ・ 7
4	理系国語演習+	8 ・ 9
5	理系国語錬成+	10 ・ 11
6	日本史B	12 ～ 14
7	地理B	15 ～ 18
8	演習世界史A	19 ・ 20
9	演習日本史A	21 ・ 22
10	演習日本史B	23 ・ 24
11	演習地理A	25 ～ 28
12	演習地理B	29 ～ 32
13	演習現代社会	33 ・ 34
14	理系数学Ⅲ	35 ・ 36
15	理系数学Ⅲ+	37 ・ 38
16	理系数学Ⅲ++	39 ・ 40
17	理系数学ⅰaⅱb+ 3単位4単位	41 ～ 44
18	理系数学ⅰaⅱb++	45 ・ 46
19	物理　＜高入＞＜内進＞	47 ～ 55
20	化学　＜高入＞＜内進＞	56 ～ 63
21	生物　＜高入＞＜内進＞	64 ～ 69
22	演習物理基礎	70 ～ 74

	科　　目	ページ
23	演習化学基礎	75 ～ 77
24	演習生物基礎	78 ・ 79
25	演習物理	80 ・ 81
26	演習物理+	82 ・ 83
27	演習物理++	84 ・ 85
28	演習化学	86 ・ 87
29	演習化学+	88 ・ 89
30	演習化学++	90 ・ 91
31	演習生物+	92 ・ 93
32	演習生物++	94 ・ 95
33	体育	96 ～ 101
34	コミュニケーション英語Ⅲ	102 ～ 105
35	英語表現CW(Change the World)	106 ～ 109
36	英語表現CW(Change the World)+	110 ～ 113
37	英語錬成IP(Integrated Practice)	114 ～ 117
38	英語錬成IP(Integrated Practice)+	118 ～ 121
39	論文演習	122 ・ 123
40	KoA-S・Ⅲ　＜高入＞	124 ・ 125
41	KoA-R・Ⅲ　＜内進＞	126 ・ 127

令和３年度　国語科　指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
現代文B	普通科・理系	3	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
精選現代文B（筑摩書房）		新総合図説国語（東京書籍） 頻出漢字マスター３０００（尚文出版）	

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。			
評価の観点および評価規準				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
様々な文章を関心をもって積極的に読み、自己の知識や考えの発展に活かそうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話すことで自己を表現したり、的確に聞き取って考えを深めている。	相手や目的、意図に応じて、正しい表現を用い、自己の考えをまとめ、深めている。	文章の構成や展開、要旨などを的確に捉え、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方など中心的な内容を正確に把握している。	文章の構成や語句などの知識を身につけるとともに、文章読解を通して様々な考え方を理解している。
評価方法	【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査の得点。 【表現力】文字作品（随筆・感想文等）の内容や完成度。			

「現代文Ｂ」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年福井県立高志高等学校　普通科(理系)　３年

実施月	単元名	教材名	指導事項 ア	イ	ウ	エ	オ	指導時数	単元の目標	具体の評価規準（評価方法） 関心・意欲・態度（評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力（評価方法）	知識・理解（評価方法）	単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考（他教科との関係、学校図書館の活用、ＩＣＴの活用等）
4～5月	自己の考えを深める	声の諸相		○				6	・具体例に注目し、筆者の意見を読み取ることができる。 ・筆者の意見をもとに、自己の生活の中から具体例にふさわしい事例を考え、まとめることができる。 ・語句の正しい意味を理解する。	具体例と意見の関係に注目し、書き手の考えを読み取ろうとしている。（行動の観察）	具体例と意見の関係を考え、適切性を判断すると共に自らの生活を振り返り、適切な事例を挙げまとめようとしている。（記述の確認・定期考査）	語句の正しい意味を理解する。（定期考査）	書き手の意図を正しく捉え、それを踏まえての意見文を適切な具体例を用いて書く。	
	作品の構造を意識する	「自然を守る」ということ	○					5	・文章の構造を意識して、適切に読むことができる。 ・書き手の意図を作品中に理由を求めながら考えることができる。 ・確かな理由のもとに本文を理解できる。	文章の構造を意識しながら読もうとしている。（行動の観察・記述の確認）	書き手の意図を本文の記述や記述から考えられる内容をもとに理解しようとしている。（記述の確認・定期考査）	文中の記述をもとに考えるという読みができるようになる。（記述の確認・定期考査）	話し合いを通して、書き手の意図を捉える。	
中間考査①														
5～6月	表現から心情を捉える	沈黙					○	7	・小説の構成・登場人物像とその心理を読み取ることができる。 ・主人公が作品において果たす役割について考え、まとめる。 ・話し合いを通して、「人間のあり方」に対する様々な考えを知る。	登場人物の行動と心情を丁寧に読み取り、作品で果たす役割について考えようとしている。（記述の確認・発問の答え）	自己の意見を持ち、他者との話し合いを通して、考えを深めようとしている。（行動の観察・定期考査）	「人間のあり方」に対しての様々な考えを知る。（行動の観察）	話し合いを通して、自己の「生き方」について考え、まとめる。	
	構成・展開を捉える	虚ろなまなざし	○					5	・文の展開を意識して読み取る力を身につける。 ・文章の展開を的確に捉え、要約文を書き、互いに評価することができる。 ・文の展開と接続詞等の関係を意識することができる。	文章の展開を捉え、自分なりにまとめようとしている。（記述の確認）	文章の展開を的確に捉え、論理性を考えた上での要約文を書き、互いに評価しようとしている。（行動の観察・記述の確認・定期考査）	接続詞等の働きを正しく理解する。（行動の観察・定期考査）	語句や展開の仕方に注意し、要旨を捉えてまとめ、評価する。	
中間考査②														
7～9月	文章を批評する	無常ということ	○					8	・物事を多角的に捉え考える。 ・各自の意見をもとに議論し、思考を深める。 ・多くの視点をもとに論証されているという展開を知る。	文中の語句の働きに注意して、要旨を捉えようとしている。（行動の観察・記述の確認）	自己の意見を持ち、他者と議論しようとしている。（行動の観察）	多角的な視点をもとに展開される文章の構成について知る。（行動の観察・定期考査）	・筆者の意見に対する自己の意見を、肯定・否定の両面から考えた上で、最終的な自己の意見をまとめる。 ・自己の意見をもとに、他者と議論する。	
	主題を捉え、味わう	家				○		5	・登場人物の境遇、言動に注目し、その心情や考えを把握する。 ・事物が、人間にどのような影響を与え意味を持つか考える。	物語の展開をとらえ、主人公の「家」への思いを考えようとしている。（行動の観察・記述の確認）	物語から読み取った内容を効果的に表現しようとしている。（記述の確認）	自分の身の回りで自分に強く影響を与えているものに気づく。（記述の確認）	物語を踏まえて、身近な実例を探し、発表する。	
期末考査														
10～11月	構成・展開を理解する	貨幣共同体	○					9	・段落相互の関係を意識して、主張や論理展開を的確に理解する。 ・表現に注意して、筆者の特徴的な見解を理解する。 ・ものの見方・感じ方・考え方を深める。	主張や展開を的確に理解しようとしている。（行動の観察）	主張や論理展開、表現等に注意して、筆者の主張や見解を丁寧に読み取ろうとしている。（発問の答え・記述の確認・定期考査）	作品を通して、新たなものの見方・考え方に気づく。（記述の確認）	個人で読み取った論理展開や筆者の主張について、ペアで確認する。	
	生き方について考える	死と向き合う			○			8	・本文に取り上げられた死に対する向き合い方の理解を深める。 ・読み取った内容を踏まえて生徒自身の死生観を深め、考えをまとめる。	取り上げられた死に対する向き合い方について考えようとしている。（行動の観察）	個人の死生観を深め、それを分かりやすく表現しようとしている。（行動の観察・記述の確認）	現代の社会で死がどのように扱われているか、知識を深める。（記述の確認・定期考査）	・詩の鑑賞文を書く。 ・話し合いを通して「人間の質」について考える。	
中間考査①														
12～1月	要旨を的確に捉える	リスク社会とその希望	○					9	・日本の近代化の問題点を読み取ることができる。 ・論の展開を丁寧にとらえ、要旨を的確に捉えることができる。 ・多くの符号が持つ意味を理解する。	日本の近代化について読み取ろうとしている。（行動の観察）	段落の関係性等に注意しながら、論の展開を丁寧にとらえ、要旨を読み取ろうとしている。（記述の確認・定期考査）	多くの符号が持つ意味合いについて理解し、本文中での役割を知る。（記述の確認・定期考査）	個人で書いた要旨についてペアで意見交換する。	
中間考査②														
2～3月	人の生き方・考え方について思考する	表札		○				8	・詩歌の表現の中から的確に作者の表現したい内容をとらえることができる。 ・詩の表現を味わい、詩に興味関心を持つ。	詩の表現に着目し、詩が描く内容を興味を持って味わうことができる。（行動の観察・発問）	詩に描かれた内容を的確に読み取り、表現することができる。（記述の確認）	人の行動と心情の関係について理解する。（記述の確認・定期考査）	作者の生活人としての有様を想像し、それをペアで話し合う。	
期末考査														
2単位　70時間の場合の例								70						

令和３年度　国語科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
古典Ｂ	普通科理系	3年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
古典Ｂ古文編［改訂版］・古典Ｂ漢文編［改訂版］（三省堂　古Ｂ 333･334）		新総合図説国語（東京書籍）、漢文読本（大修館書店） 新版完全マスター古典文法（第一学習社） 新明説漢文（尚文出版）、解法古文単語３５０（数研出版）	

科目の目標	古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。	
評価の観点および評価規準		
関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解
･言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書をしようとしたりしている。 ・積極的に自分の意見や考えが表現できる。 ・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。 ・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。 ・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。	・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。 ・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。
評価方法	【関 心・意 欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。	

「古典Ｂ」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科（理系）３年

実施月	単元名	教材名	指導事項						単元の目標	具体の評価規準（評価方法）			単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考（他教科との関係、学校図書館の活用、ＩＣＴの活用等）
			ア	イ	ウ	エ	オ			関心・意欲・態度（評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力（評価方法）	知識・理解（評価方法）		
4～5	《古文》 歌論を読む 日記を読む 《漢文》 漢詩を読む 小説を読む	《古文》 深草の里（無名抄） うつろひたる菊(蜻蛉日記) 《漢文》 飲酒（陶潜） 魚服記（続玄怪録）	◎	○				10	《古文》日本文芸の中核をなす和歌に関する評論を読み、作品の根底にある発想を知ることで、作品を読解・鑑賞する力を養うとともに、わが国の伝統と文化について理解を深める。 《漢文》 ・漢詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。(行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。（記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。（定期	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、杜甫の詩が事実を淡々と記述していることの効果や意図について話し合う。	
中間考査①														
5～6	《古文》 物語を読む 《漢文》 文を読む	《古文》 廃院の怪（源氏物語） 《漢文》 師説（古文真宝後集）		○	◎			13	《古文》『源氏物語』を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界にふれるとともに、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》唐宋八大家の一人である韓愈の文章や中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・考え方を豊	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。(行動の観察)	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	『源氏物語』の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）空蝉の歌や源氏の歌に託された思いを読み取るとともに、描写や心理表現に注意して登場人物の行動や心情を理解する。	
中間考査②														
7～9	《古文》 物語を読む 《漢文》 思想を読む	《古文》 明石の君の苦悩（源氏物語） 《漢文》 夢為胡蝶（荘子）		◎	○			12	《古文》『源氏物語』を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界にふれるとともに、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。(行動の観察)	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのかを考え、理解する。 ・（書くこと）『無明草子』の女君評を参考に、明石の上、紫の上の優れている点について考察し記述する。	
期末考査														
2単位　70時間の場合の例								35						

令和３年度　国語科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系国語演習	普通科理系	3年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		プリント等	

科目の目標	古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。過去の入試で使用された問題等に取り組み、古文単語や文法、漢文句法など既習の知識を再確認し、その定着を図るとともに、速く正確に問題を解く実践的な読解力、記述力を身に付ける。

評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解
･言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書をしようとしたりしている。 ・積極的に自分の意見や考えが表現できる。 ・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。 ・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。 ・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。	・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。 ・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。

評価方法	【関 心・意 欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。

「理系国語演習」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科（理系）３年

実施月	単元名	教材名	指導事項						単元の目標	具体の評価規準（評価方法）			単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考（他教科との関係、学校図書館の活用、ＩＣＴの活用等）
			ア	イ	ウ	エ	オ			関心・意欲・態度（評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 （評価方法）	知識・理解（評価方法）		
10～11	《古文》 物語を読む 《漢文》 説話を読む	《古文》 「松陰中納言物語」 「源氏物語」 《漢文》 「四溟詩話」 「張耒集」	◎	○				10	《古文》 ・「松陰中納言物語」を読み、源中納言を巡る様々な出来事を読み取りながら、室町時代の人々の考え方や価値観に触れる。 ・「源氏物語を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界に触れる。 《漢文》 ・漢詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。 ・説話の読解を通して、その構成や展開に即して内容を的確にとらえるとともに、漢文に親しむ姿勢をもつ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。（定期考査など）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、杜甫の詩が事実を淡々と記述していることの効果や意図について話し合う。	
中間考査①														
12～1	《古文》 物語を読む 《漢文》 文を読む 思想を読む	《古文》 「宇津保物語」 「今昔物語集」 《漢文》 「陸文定公集」 「陋軒詩」		○	◎			13	《古文》「宇津保物語」、「今昔物語集」を読み、遣唐使清原俊蔭の生涯など多様な物語世界に触れ、古文を読みこなす力を養成する。 《漢文》中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。(行動の観察)	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	説話文の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）行動描写や心理表現に注意して登場人物の意図や心情を理解する。 ・（話すこと）漢文における比喩表現の重要性について考え、陸樹聲が比喩を用いた意図について話し合う。	
中間考査②														
2～3	《古文》 物語を読む 《漢文》 思想を読む	《古文》 「鳥部山物語」 《漢文》 「陋軒詩」 「篁墩文集」		◎	○			12	《古文》「鳥辺山物語」という室町時代に成立した物語を読み、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》程敏政という思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。(行動の観察)	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのかを考え、理解する。 ・（書くこと）程敏政の主張する点で現代社会にも通用する点について考察し記述する。	
期末考査														
4単位　140時間の場合の例								35						

令和３年度　国語科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系国語演習＋	普通科理系	3年	1

教科書（出版社・タイトル）	補助教材等
なし	プリント等

科目の目標	古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。過去の入試で使用された問題等に取り組み、古文単語や文法、漢文句法など既習の知識を再確認し、その定着を図るとともに、速く正確に問題を解く実践的な読解力、記述力を身に付ける。さらに発展的な内容を扱いながら、高度な文章を読み解ける力を養成する。

評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解
･言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書をしようとしたりしている。 ・積極的に自分の意見や考えが表現できる。 ・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。 ・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。 ・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。	・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。 ・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。

評価方法	【関 心・意 欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。

「理系国語演習＋」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科（理系）３年

実施月	単元名	教材名	指導事項						単元の目標	具体の評価規準（評価方法）			単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考（他教科との関係、学校図書館の活用、ＩＣＴの活用等）
			ア	イ	ウ	エ	オ			関心・意欲・態度（評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 （評価方法）	知識・理解（評価方法）		
10～11	《古文》 物語を読む 《漢文》 説話を読む	《古文》 「松陰中納言物語」 「源氏物語」 《漢文》 「四溟詩話」 「張耒集」	◎	○				10	《古文》 ・「松陰中納言物語」を読み、源中納言を巡る様々な出来事を読み取りながら、室町時代の人々の考え方や価値観に触れる。 ・「源氏物語を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界に触れる。 《漢文》 ・漢詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。 ・説話の読解を通して、その構成や展開に即して内容を的確にとらえるとともに、漢文に親しむ姿勢をもつ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。（定期考査など）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、杜甫の詩が事実を淡々と記述していることの効果や意図について話し合う。	
中間考査①														
12～1	《古文》 物語を読む 《漢文》 文を読む 思想を読む	《古文》 「宇津保物語」 「今昔物語集」 《漢文》 「陸文定公集」 「陋軒詩」		○	◎			13	《古文》「宇津保物語」、「今昔物語集」を読み、遣唐使清原俊蔭の生涯など多様な物語世界に触れ、古文を読みこなす力を養成する。 《漢文》中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。(行動の観察)	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	説話文の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）行動描写や心理表現に注意して登場人物の意図や心情を理解する。 ・（話すこと）漢文における比喩表現の重要性について考え、陸樹聲が比喩を用いた意図について話し合う。	
中間考査②														
2～3	《古文》 物語を読む 《漢文》 思想を読む	《古文》 「鳥部山物語」 《漢文》 「陋軒詩」 「篁墩文集」		◎	○			12	《古文》「鳥辺山物語」という室町時代に成立した物語を読み、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》程敏政という思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。(行動の観察)	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのかを考え、理解する。 ・（書くこと）程敏政の主張する点で現代社会にも通用する点について考察し記述する。	
期末考査														
4単位　140時間の場合の例								35						

令和３年度　国語科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系国語錬成＋	普通科理系	3年	1

教科書（出版社・タイトル）	補助教材等
なし	プリント等

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解
･言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書をしようとしたりしている。 ・積極的に自分の意見や考えが表現できる。 ・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。 ・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。 ・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。	・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。 ・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。

評価方法	【関 心・意 欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。

「理系国語錬成＋」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科（理系）３年

実施月	単元名	教材名	指導事項 ア	イ	ウ	エ	オ		単元の目標	具体の評価規準（評価方法） 関心・意欲・態度（評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力（評価方法）	知識・理解（評価方法）	単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考（他教科との関係、学校図書館の活用、ＩＣＴの活用等）
4～5	《現代文》 随筆を読む 《古文》 歌論を読む 《漢文》 詩文を読む	《評論》 「ありがとうもごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと」 《古文》 「蔵書目録」 《漢文》 「黄生借書説」	◎	○				10	《現代文》 ボルネオ島の狩猟採集民とのフィールドワークから、豊かさ、自由、幸せとは何かを根本的に問い直す。 《古文》 江戸末期の蔵書家の書いた文章をもとに、和歌を含んだ古文の読解力を養う。 《漢文》 清朝を代表する文人の書いた文章をもとに、漢文を解釈することの面白さを感じさせる。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。 （定期考査など）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、様々な表現技法の効果や意図について話し合う。	
中間考査①														
6～7	《現代文》 評論を読む 《現代文》 対談を読む 《古文》 歌論を読む	《評論》 「科学思想史の哲学」 《対談》 「詩の誕生」 《古文》 「三のしるべ」		○	◎			13	《評論》金森修が、近代科学の成立の経緯について著した文章を読んで、筆者の主張を読み取る。 《対談》大岡信と谷川俊太郎の対談を読み、二人の詩に対する考え方を読み取る。 《古文》江戸時代後期の国学者の歌論を読み、和歌を読み解く力を養成する。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、様々な表現技法の効果や意図について話し合う。	
中間考査②														
8～9	《現代文》 評論を読む 《古文》 俳文を読む 《漢文》 思想を読む	《評論》 「科学と非科学のはざまで」 《古文》 「俳諧世説」 《漢文》 「明夷待訪録」		◎	○			12	《評論》中屋敷均の書いた文章をもとに、秩序と無秩序の間で生まれる生命現象、科学の営為、人間の営みについての筆者の主張を読み取る。 《古文》江戸時代の俳人、高桑闌更の文章を読み、エピソードの内容を読み取りながら、筆者の俳諧に対する見方を学ぶ。 《漢文》明代末の思想家で、「中国のルソー」と呼ばれた黄宗義の文章を読み、筆者の主張を読み取りながら、民本主義について学ぶ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、様々な表現技法の効果や意図について話し合う。	
期末考査														
4単位　140時間の場合の例								35						

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
日本史Ｂ	普通科理系	３年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
山川出版社　『詳説 日本史』		帝国書院　『図説日本史通覧』	

科目の目標	１．我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させる。 ２．我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることのよって、歴史的思考を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事項を国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「日本史Ｂ」　指　導　と　評　価　の　年　間　計　画

福井県立高志高等学校 普通科　３年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）		
				・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
9	第Ⅳ部　近代・近現代 第９章　近代国家の成立	4 5	25	・近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 ・近代国家の形成と社会や文化の特色について意欲的に追究している。	・明治維新以降の我が国の近代化の推進過程から課題を見いだし、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ 公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・我が国の立憲国家としての展開から課題を見いだし、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に 表現している。 ・近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・近代国家の形成と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 ・近代国家の形成と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・明治維新以降の我が国の近代化の推進過程についての基本的な事柄を、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化思想の影響や国際環境の変化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・我が国の立憲国家としての展開についての基本的な事柄を、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	１．開国と幕末の動乱 ・国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。 ２．明治維新と富国強兵 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・欧米の文化・思想の導入と一連の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆の失敗と、言論による要求実現への転換を理解する。 ・明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。 ３．立憲国家の成立と日清戦争 ・政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・東アジアをめぐる国際環境が変容するなか、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。 ４．日露戦争と国際関係 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。	・明治維新の実現について、各自の関心に基づいて選んだ人物の評論を作成し、互いに展示し発表する。

10	第10章　二つの世界大戦とアジア	6 7	33	・近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 ・近代国家の展開と社会や文化の特色について意欲的に追究している。	・政党牧治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景から課題を見いだし、政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や 結果を適切に表現している。 ・第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響から課題を見いだし、国際社会の中の日本の立場と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦との関わりから課題を見いだし、国際社会の動向、アジア近隣諸国との関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 ・近代国家の展開と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響についての基本的な事柄を，国際社会の中の日本の立場と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦との関わりについての基本的な事柄を、国際社会の動向、アジア近隣諸国との関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．第一次世界大戦と日本 ・第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 2．ワシントン体制 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・民主主義的風潮による社会運動の動向を理解すると共に、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。 3．市民生活の変容と大衆文化 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察する。 4．恐慌の時代 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。 5．軍部の台頭 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ・恐慌から脱出し、国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。 6．第二次世界大戦 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	・日中戦争から太平洋戦争に至る過程について、資料をもとにその要因を分析し論述する。
11	第11章　占領下の日本	7 9	27	・現代の社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高めている。	・我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移から課題を見いだし、占領政策と諸改革、平和条約と独立，国際交流や国際貢献の拡大と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・現代の社会や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。	・我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移についての基本的な事柄を、占領政策と諸改革、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．占領と改革 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。 2．冷戦の開始と講和 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。	・ＧＨＱによる戦後の占領政策の特徴について、事実を正確に理解し､他者に的確に伝達する。
12	第12章　高度成長の時代	9	10	・現代の社会や国民生活の特色について意欲的に追究している。	・日本経済の発展と国民生活の変化から課題を見いだし、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・現代の社会や国民生活の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・日本経済の発展と国民生活の変化についての基本的な事柄を、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．55年体制 ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 ・冷戦構造に雪解けの状況が生まれる中、日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。 2．経済復興から高度成長へ ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察する。	・高度経済成長と日本文化の変容について、家族や知人などから実体験に基づく情報を収集し発表する。
13	第13章　激動する世界と日本	9	10	・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに対する関心と課題意識を高め、意欲的に探究し、考えを論述しようとしている。	・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などから課題を見いだし、適切な主題を設定して多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、考えを論述している。	・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・社会と個人、世界の中の日本地域社会の歴史と生活などについて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．経済大国への道 ・ドル＝ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。 ・高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 2．冷戦終結と日本社会の動揺 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。 ・科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する	・科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題とその課題について、他者との話し合いを通じて問題意識を深める。

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
地理Ｂ	普通科理系	３年（前期）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
帝国書院　『新詳　地理Ｂ』		とうほう　『新編　地理資料』	

科目の目標	１．現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 ２．地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・現代世界の地理的事象について、関心を高めることができたか。 ・意欲的に学習課題を追及していたか。 ・よりよい国際社会の実現に主体的に行動する態度を身につけられたか。	・現代世界のさまざまな事象を地理的事象としてとらえることができたか。また、課題を見出すことができたか。 ・系統地理的、地誌的な考察の方法を身につけることができたか。	・地理的事象を追及するのに必要な地図や統計、画像などの収集、活用、表現法といった技能を身につけることができたか。 ・学習の中で追及し考察した過程や結果について、さまざまな方法で適切に表現する方法を身につけることができたか。	・現代世界の地理的事象についての基本的な追及の方法を理解し、その知識を身につけることができたか。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「地理B」指 導 と 評 価 の 年 間 計 画

福井県立高志高等学校 普通科理系 3年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				（評価の方法） ・行動観察 ・提出状況	（評価の方法） ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	（評価の方法） ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	（評価の方法） ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 １節　世界の地形			・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、関心を持って学習しようとしている。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に考察している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真を適切に活用している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の地形 ・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
2	第Ⅰ部　さまざまな地図と地理的技能 １章　地理情報と地図 ２章　地図の活用と地域調査			・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、関心を持って学習しようとしている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、関心を持って学習しようとしている。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に考察している。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に考察している。	・地形図や統計地図を適切に活用している。 ・地域調査において、実際の地域調査を通して資料を適切に活用している。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、基本的な知識を身につけている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題について、基本的な知識を身につけている。	地理情報と地図 ・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に理解する。 地図の活用と地域調査 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に理解する。	・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
3	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ２節　世界の気候			・気候を構成している気候要素について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候を構成している気候要素について、多角的に考察している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、多角的に考察している。	・気候を構成している気候要素について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・気候を構成している気候要素について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の気候 ・気候を構成している気候要素について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
4	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ３節　日本の自然の特徴と人々の生活			・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、多角的に考察している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、基本的な知識を身につけている。	日本の自然の特徴と人々の生活 ・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
5	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ４節　環境問題			・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体例を通して問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、基本的な知識を身につけている。	環境問題 ・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

6	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 １節　産業の発達と変化 ２節　世界の農林水産業			・世界の農業に影響を与える要因について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・世界の農業に影響を与える要因について、多角的に考察している。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、多角的に考察している。	・世界の農業に影響を与える要因について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の農林水産業について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の農業に影響を与える要因について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の農林水産業について、基本的な知識を身につけている。	産業の発達と変化 世界の農林水産業 ・世界の農業に影響を与える要因について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の農業に影響を与える要因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・世界の農林水産業について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
7	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ３節　食料問題			・世界の食料問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の食料問題の現状とその原因について、多角的に考察している。	・世界の食料問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の食料問題の現状とその原因について、基本的な知識を身につけている。	食料問題 ・世界の食料問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の食料問題の現状とその原因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
8	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ４節　世界のエネルギー・鉱産資源 ５節　資源・エネルギー問題			・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、関心を持って学習しようとしている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、関心を持って学習しようとしている。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、多角的に考察している。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・資源・エネルギー問題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、基本的な知識を身につけている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みについて、基本的な知識を身につけている。	世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、具体事例を通して多角的に理解する。 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
9	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ６節　世界の工業			・さまざまな工業の特色と立地条件について、関心を持って学習しようとしている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、関心を持って学習しようとしている。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、多角的に考察している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、多角的に考察している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、基本的な知識を身につけている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、基本的な知識を身につけている。	資源と産業 ・さまざまな工業の特色と立地条件について、具体事例を通して多角的に理解する。 世界の工業 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど、具体事例を通して多角的に理解する。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
10	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ７節　第３次産業			・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、関心を持って学習しようとしている。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、多角的に考察している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、基本的な知識を身につけている。	第３次産業 ・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、具体事例を通して多角的に理解する。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
11	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ８節　世界を結ぶ交通・通信			・世界の交通網の地域差とその発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・情報化社会における現状と課題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の交通網の地域差とその発達について、多角的に考察している。 ・情報化社会における現状と課題について、多角的に考察している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・情報化社会における現状と課題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、基本的な知識を身につけている。 ・情報化社会における現状と課題について、基本的な知識を身につけている。	世界を結ぶ交通・通信 ・世界の交通網の地域差とその発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・情報化社会における現状と課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の交通網の地域差とその発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・情報化社会における現状と課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
12	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ９節　現代世界の貿易と経済圏			・貿易における国際分業や貿易の種類について、関心を持って学習しようとしている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、関心を持って学習しようとしている。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、多角的に考察している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、多角的に考察している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、基本的な知識を身につけている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、基本的な知識を身につけている。	現代世界の貿易と経済圏 ・貿易における国際分業や貿易の種類について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、具体事例を通して多角的に理解する。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

13	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ３章　人口・村落・都市 １節　世界の人口 ２節　人口問題	4	10	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、関心を持って学習しようとしている。 ・発展途上国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。 ・先進国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、多角的に考察している。 ・発展途上国の人口問題について、多角的に考察している。 ・先進国の人口問題について、多角的に考察している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・発展途上国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・先進国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、基本的な知識を身につけている。 ・発展途上国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。 ・先進国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。	世界の人口 ・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、具体事例を通して多角的に理解する。 人口問題 ・発展途上国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・先進国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・発展途上国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・先進国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
14	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ３章　人口・村落・都市 ３節　村落と都市 ４節　都市・居住問題	5	10	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、関心を持って学習しようとしている。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、多角的に考察している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、多角的に考察している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、基本的な知識を身につけている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、基本的な知識を身につけている。	村落と都市 ・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 都市・居住問題 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
15	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 １節　生活文化	6	10	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、多角的に考察している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、基本的な知識を身につけている。	生活文化 ・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
16	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 ２節　民族と宗教	7	10	・人種・民族の分類などについて、関心を持って学習しようとしている。 ・諸民族の生活の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・人種・民族の分類などについて、多角的に考察している。 ・諸民族の生活の特色について、多角的に考察している。	・人種・民族の分類などについて、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・諸民族の生活の特色について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・人種・民族の分類などについて、基本的な知識を身につけている。 ・諸民族の生活の特色について、基本的な知識を身につけている。	民族と宗教 ・人種・民族の分類などについて、具体事例を通して多角的に理解する。 ・諸民族の生活の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・人種・民族の分類などについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・諸民族の生活の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
17	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 ３節　現代世界の国家 ４節　民族・領土問題	8 ▪ 9	15	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、関心を持って学習しようとしている。 ・民族・領土問題について、関心を持って学習しようとしている。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、多角的に考察している。 ・民族・領土問題について、多角的に考察している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・民族・領土問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、基本的な知識を身につけている。 ・民族・領土問題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の国家 ・国家の三要素や、国家の様々な形態について、具体事例を通して多角的に理解する。 民族・領土問題 ・民族・領土問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・民族・領土問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
18	第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察 １章　現代世界の地域区分 ２章　現代世界の諸地域	9	15	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、関心を持って学習しようとしている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、関心を持って学習しようとしている。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、多角的に考察している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、多角的に考察している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、基本的な知識を身につけている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の地域区分 ・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、具体事例を通して多角的に理解する。 現代世界の諸地域 ・各地域の概況や抱えている課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・各地域の概況や抱えている課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習世界史Ａ	普通科理系	３年（後期）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		独自教材（自作プリント）	

科目の目標	「世界史Ａ」で学習した日本史の基本的事項の理解をもとに、政治・外交・経済・文化のテーマを通して歴史的思考力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し，その知識を身につけている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「演習世界史Ａ」　指　導　と　評　価　の　年　間　計　画

福井県立高志高等学校 普通科　３年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）		
				・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	近現代の外交史	10	8	・外交に関する歴史的事象の知識、目的や影響を積極的に学習しようとしている。 ・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、意見交換を行おうとしている。	・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、説明することができる。	・各時代の外交や目的の違いについてまとめることができる。 ・文化に関連する事項を取り上げ、外交が文化形成に与えた役割をまとめることができる。	・外交に関する歴史的事象を理解することができる。 ・各時代の外交の目的や影響について理解することができる。	・外交に関する歴史的事象の知識をはじめ、目的や影響を学ぶ。 ・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、意見交換を行う。 ・文化に関連する事項を取り上げ、外交が文化形成に与えた役割をまとめる。	・各国の外交について、風土・政権の特徴などを互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
2	近現代の文化史	10	10	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を積極的に学習しようとしている。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめようとしている。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を説明することができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を説明することができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色をまとめることができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめることができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を理解することができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を理解することができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を学ぶ。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などについて､互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
3	近現代の政治史	11 12	30	・統治の方法としくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 ・近現代の政治の特色を積極的に学ぼうとしている。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行おうとしている。	・統治の方法としくみの変遷を説明することができる。 ・近現代の政治の特色を説明することができる。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行うことができる。	・統治の方法としくみの変遷をまとめることができる。 ・近現代の政治の特色をまとめることができる。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行うことができる。	・統治の方法としくみの変遷を理解することができる。 ・近現代の政治の特色を理解することができる。 ・政治の特色や変化した背景を理解することができる。	・統治の方法としくみの変遷を学習する。 ・近現代の政治の特色を学ぶ。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行う。	・各時代の政治の特徴について、隣接する時代の政治との関連性を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
4	近現代の社会経済史	12	14	・経済のしくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを積極的に学習しようとしている。	・経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめることができる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色をまとめることができる。	・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きと関連させ、各時代ごとに経済の特色をまとめる。	・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色を理解することができる。	・経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとに特色をまとめる。意見交換も行う。	・経済のしくみの変遷について、他者と意見交換して自らの意見を発展させる。

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習日本史Ａ	普通科理系	３年（後期）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		独自教材（自作プリント）	

科目の目標	「日本史Ｂ」で学習した日本史の基本的事項の理解をもとに、政治・外交・経済・文化のテーマを通して歴史的思考力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
各分野の歴史的事象を時代ごとに学んで把握するだけでなく、一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、総合的に歴史を考察しようとしている。	過去から現在までの事象の流れを大局的に学ぶことによって、各時代の人々の考え方の相違や社会の特色の変化の要因や背景を理解し、考察することができる。	各分野の歴史的事象の関連を意識し、各時代の特色について自分でまとめ、説明することができる。	一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、過去から現在までの事象の流れと各時代の特色について理解することができる。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「演習日本史Ａ」　指　導　と　評　価　の　年　間　計　画

福井県立高志高等学校 普通科　３年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）		
				・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	近現代の外交史	10	8	・外交に関する歴史的事象の知識、目的や影響を積極的に学習しようとしている。 ・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、意見交換を行おうとしている。	・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、説明することができる。	・各時代の外交や目的の違いについてまとめることができる。 ・文化に関連する事項を取り上げ、外交が文化形成に与えた役割をまとめることができる。	・外交に関する歴史的事象を理解することができる。 ・各時代の外交の目的や影響について理解することができる。	・外交に関する歴史的事象の知識をはじめ、目的や影響を学ぶ。 ・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、意見交換を行う。 ・文化に関連する事項を取り上げ、外交が文化形成に与えた役割をまとめる。	・各国との外交について、風土・政権の特徴・日本への影響などを互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
2	近現代の文化史	10	10	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を積極的に学習しようとしている。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめようとしている。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を説明することができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を説明することができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色をまとめることができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめることができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を理解することができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を理解することができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を学ぶ。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などについて、互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
3	近現代の政治史	11 12	30	・統治の方法としくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 ・近現代の政治の特色を積極的に学ぼうとしている。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行おうとしている。	・統治の方法としくみの変遷を説明することができる。 ・近現代の政治の特色を説明することができる。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行うことができる。	・統治の方法としくみの変遷をまとめることができる。 ・近現代の政治の特色をまとめることができる。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行うことができる。	・統治の方法としくみの変遷を理解することができる。 ・近現代の政治の特色を理解することができる。 ・政治の特色や変化した背景を理解することができる。	・統治の方法としくみの変遷を学習する。 ・近現代の政治の特色を学ぶ。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行う。	・各時代の政治の特徴について、隣接する時代の政治との関連性を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
4	近現代の社会経済史	12	14	・経済のしくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを積極的に学習しようとしている。	・経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめることができる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色をまとめることができる。	・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きと関連させ、各時代ごとに経済の特色をまとめる。	・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色を理解することができる。	・経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとに特色をまとめる。意見交換も行う。	・経済のしくみの変遷について、他者と意見交換して自らの意見を発展させる。

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習日本史Ｂ	普通科理系	３年（後期）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		自主教材（テーマ別自作プリント）	

科目の目標	「日本史Ｂ」で学習した日本史の基本的事項の理解をもとに、政治・外交・経済・文化のテーマを通して歴史的思考力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
各分野の歴史的事象を時代ごとに学んで把握するだけでなく、一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、総合的に歴史を考察しようとしている。	過去から現在までの事象の流れを大局的に学ぶことによって、各時代の人々の考え方の相違や社会の特色の変化の要因や背景を理解し、考察することができる。	各分野の歴史的事象の関連を意識し、各時代の特色について自分でまとめ、説明することができる。	一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、過去から現在までの事象の流れと各時代の特色について理解することができる。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「演習日本史Ｂ」　指　導　と　評　価　の　年　間　計　画

福井県立高志高等学校 普通科　３年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）	（評価の方法）		
				・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	原始・古代～近現代の外交史	10	8	・外交に関する歴史的事象の知識、目的や影響を積極的に学習しようとしている。 ・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、意見交換を行おうとしている。	・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、説明することができる。	・各時代の外交や目的の違いについてまとめることができる。 ・文化に関連する事項を取り上げ、外交が文化形成に与えた役割をまとめることができる。	・外交に関する歴史的事象を理解することができる。 ・各時代の外交の目的や影響について理解することができる。	・外交に関する歴史的事象の知識をはじめ、目的や影響を学ぶ。 ・各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、意見交換を行う。 ・文化に関連する事項を取り上げ、外交が文化形成に与えた役割をまとめる。	・各国との外交について、風土・政権の特徴・日本への影響などを互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
2	原始・古代～近現代の文化史	10	10	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を積極的に学習しようとしている。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめようとしている。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を説明することができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を説明することができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色をまとめることができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめることができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を理解することができる。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を理解することができる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を学ぶ。 ・各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめる。	・各時代の芸術作品・文芸品・建造物などについて、互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
3	原始・古代～近現代の政治史	11 12	30	・統治の方法としくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 ・原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を積極的に学ぼうとしている。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行おうとしている。	・統治の方法としくみの変遷を説明することができる。 ・原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を説明することができる。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行うことができる。	・統治の方法としくみの変遷をまとめることができる。 ・原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色をまとめることができる。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行うことができる。	・統治の方法としくみの変遷を理解することができる。 ・原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を理解することができる。 ・政治の特色や変化した背景を理解することができる。	・統治の方法としくみの変遷を学習する。 ・原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を学ぶ。 ・政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらからまとめ、意見交換を行う。	・各時代の政治の特徴について、隣接する時代の政治との関連性を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
4	原始・古代～近現代の社会経済史	12	14	・土地制度史や教育制度、経済のしくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを積極的に学習しようとしている。	・土地制度史の変遷を政治史と関連させながら説明することができる。 ・教育制度の変遷を説明することができる。 ・経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめることができる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色をまとめることができる。	・土地制度史の変遷や教育制度、経済のしくみの変遷をまとめることができる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きと関連させ、各時代ごとに経済の特色をまとめる。	・土地制度史の変遷や教育制度の変遷、経済のしくみの変遷を理解することができる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色を理解することができる。	・土地制度史の変遷を政治史と関連させながら学習する。 ・教育制度の変遷を学習する。 ・経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめる。 ・経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとに特色をまとめる。意見交換も行う。	・土地制度と政治史との関性について、他者と意見交換して自らの意見を発展させる。

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習地理Ａ	普通科理系	３年（後期）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		独自教材（自作プリント）	

科目の目標	１．現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 ２．地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・現代世界の地理的事象について、関心を高めることができたか。 ・意欲的に学習課題を追及していたか。 ・よりよい国際社会の実現に主体的に行動する態度を身につけられたか。	・現代世界のさまざまな事象を地理的事象としてとらえることができたか。また、課題を見出すことができたか。 ・系統地理的、地誌的な考察の方法を身につけることができたか。	・地理的事象を追及するのに必要な地図や統計、画像などの収集、活用、表現法といった技能を身につけることができたか。 ・学習の中で追及し考察した過程や結果について、さまざまな方法で適切に表現する方法を身につけることができたか。	・現代世界の地理的事象についての基本的な追及の方法を理解し、その知識を身につけることができたか。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「演習地理A」指 導 と 評 価 の 年 間 計 画

福井県立高志高等学校 普通科 3年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				（評価の方法） ・行動観察 ・提出状況	（評価の方法） ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	（評価の方法） ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	（評価の方法） ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 １節　世界の地形	10	3	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、関心を持って学習しようとしている。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に考察している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真を適切に活用している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の地形 ・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
2	第Ⅰ部　さまざまな地図と地理的技能 １章　地理情報と地図 ２章　地図の活用と地域調査	10	3	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、関心を持って学習しようとしている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、関心を持って学習しようとしている。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に考察している。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に考察している。	・地形図や統計地図を適切に活用している。 ・地域調査において、実際の地域調査を通して資料を適切に活用している。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、基本的な知識を身につけている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題について、基本的な知識を身につけている。	地理情報と地図 ・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に理解する。 地図の活用と地域調査 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に理解する。	・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
3	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ２節　世界の気候	10	4	・気候を構成している気候要素について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候を構成している気候要素について、多角的に考察している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、多角的に考察している。	・気候を構成している気候要素について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・気候を構成している気候要素について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の気候 ・気候を構成している気候要素について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
4	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ３節　日本の自然の特徴と人々の生活	10	4	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、多角的に考察している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、基本的な知識を身につけている。	日本の自然の特徴と人々の生活 ・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
5	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ４節　環境問題	10	4	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体例を通して問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、基本的な知識を身につけている。	環境問題 ・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

6	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 １節　産業の発達と変化 ２節　世界の農林水産業	11	4	・世界の農業に影響を与える要因について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・世界の農業に影響を与える要因について、多角的に考察している。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、多角的に考察している。	・世界の農業に影響を与える要因について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の農林水産業について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の農業に影響を与える要因について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の農林水産業について、基本的な知識を身につけている。	産業の発達と変化 世界の農林水産業 ・世界の農業に影響を与える要因について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の農業に影響を与える要因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・世界の農林水産業について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
7	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ３節　食料問題	11	4	・世界の食料問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の食料問題の現状とその原因について、多角的に考察している。	・世界の食料問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の食料問題の現状とその原因について、基本的な知識を身につけている。	食料問題 ・世界の食料問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の食料問題の現状とその原因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
8	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ４節　世界のエネルギー・鉱産資源 ５節　資源・エネルギー問題	11	4	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、関心を持って学習しようとしている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、関心を持って学習しようとしている。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、多角的に考察している。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・資源・エネルギー問題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、基本的な知識を身につけている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みについて、基本的な知識を身につけている。	世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、具体事例を通して多角的に理解する。 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
9	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ６節　世界の工業	11	4	・さまざまな工業の特色と立地条件について、関心を持って学習しようとしている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、関心を持って学習しようとしている。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、多角的に考察している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、多角的に考察している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、基本的な知識を身につけている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、基本的な知識を身につけている。	資源と産業 ・さまざまな工業の特色と立地条件について、具体事例を通して多角的に理解する。 世界の工業 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど、具体事例を通して多角的に理解する。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
10	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ７節　第３次産業	11	4	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、関心を持って学習しようとしている。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、多角的に考察している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、基本的な知識を身につけている。	第３次産業 ・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、具体事例を通して多角的に理解する。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
11	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ８節　世界を結ぶ交通・通信	12	4	・世界の交通網の地域差とその発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・情報化社会における現状と課題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の交通網の地域差とその発達について、多角的に考察している。 ・情報化社会における現状と課題について、多角的に考察している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・情報化社会における現状と課題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、基本的な知識を身につけている。 ・情報化社会における現状と課題について、基本的な知識を身につけている。	世界を結ぶ交通・通信 ・世界の交通網の地域差とその発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・情報化社会における現状と課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の交通網の地域差とその発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・情報化社会における現状と課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
12	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ９節　現代世界の貿易と経済圏	12	4	・貿易における国際分業や貿易の種類について、関心を持って学習しようとしている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、関心を持って学習しようとしている。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、多角的に考察している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、多角的に考察している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、基本的な知識を身につけている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、基本的な知識を身につけている。	現代世界の貿易と経済圏 ・貿易における国際分業や貿易の種類について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、具体事例を通して多角的に理解する。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

13	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ３章　人口・村落・都市 １節　世界の人口 ２節　人口問題	12	4	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、関心を持って学習しようとしている。 ・発展途上国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。 ・先進国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、多角的に考察している。 ・発展途上国の人口問題について、多角的に考察している。 ・先進国の人口問題について、多角的に考察している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・発展途上国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・先進国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、基本的な知識を身につけている。 ・発展途上国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。 ・先進国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。	世界の人口 ・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、具体事例を通して多角的に理解する。 人口問題 ・発展途上国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・先進国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・発展途上国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・先進国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
14	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ３章　人口・村落・都市 ３節　村落と都市 ４節　都市・居住問題	12	4	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、関心を持って学習しようとしている。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、多角的に考察している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、多角的に考察している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、基本的な知識を身につけている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、基本的な知識を身につけている。	村落と都市 ・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 都市・居住問題 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
15	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 １節　生活文化	12	4	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、多角的に考察している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、基本的な知識を身につけている。	生活文化 ・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
16	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 ２節　民族と宗教	12	4	・人種・民族の分類などについて、関心を持って学習しようとしている。 ・諸民族の生活の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・人種・民族の分類などについて、多角的に考察している。 ・諸民族の生活の特色について、多角的に考察している。	・人種・民族の分類などについて、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・諸民族の生活の特色について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・人種・民族の分類などについて、基本的な知識を身につけている。 ・諸民族の生活の特色について、基本的な知識を身につけている。	民族と宗教 ・人種・民族の分類などについて、具体事例を通して多角的に理解する。 ・諸民族の生活の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・人種・民族の分類などについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・諸民族の生活の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
17	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 ３節　現代世界の国家 ４節　民族・領土問題	1	4	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、関心を持って学習しようとしている。 ・民族・領土問題について、関心を持って学習しようとしている。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、多角的に考察している。 ・民族・領土問題について、多角的に考察している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・民族・領土問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、基本的な知識を身につけている。 ・民族・領土問題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の国家 ・国家の三要素や、国家の様々な形態について、具体事例を通して多角的に理解する。 民族・領土問題 ・民族・領土問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・民族・領土問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
18	第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察 １章　現代世界の地域区分 ２章　現代世界の諸地域	1	4	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、関心を持って学習しようとしている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、関心を持って学習しようとしている。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、多角的に考察している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、多角的に考察している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、基本的な知識を身につけている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の地域区分 ・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、具体事例を通して多角的に理解する。 現代世界の諸地域 ・各地域の概況や抱えている課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・各地域の概況や抱えている課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習地理Ｂ	普通科理系	３年（後期）	2
科目名	学科名	対象学年	単位数
帝国書院　『新詳　地理Ｂ』		とうほう　『新編　地理資料』	

科目の目標	１．現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 ２．地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・現代世界の地理的事象について、関心を高めることができたか。 ・意欲的に学習課題を追及していたか。 ・よりよい国際社会の実現に主体的に行動する態度を身につけられたか。	・現代世界のさまざまな事象を地理的事象としてとらえることができたか。また、課題を見出すことができたか。 ・系統地理的、地誌的な考察の方法を身につけることができたか。	・地理的事象を追及するのに必要な地図や統計、画像などの収集、活用、表現法といった技能を身につけることができたか。 ・学習の中で追及し考察した過程や結果について、さまざまな方法で適切に表現する方法を身につけることができたか。	・現代世界の地理的事象についての基本的な追及の方法を理解し、その知識を身につけることができたか。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「演習地理B」指 導 と 評 価 の 年 間 計 画

福井県立高志高等学校 普通科 3年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				（評価の方法） ・行動観察 ・提出状況	（評価の方法） ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	（評価の方法） ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	（評価の方法） ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 １節　世界の地形	10	3	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、関心を持って学習しようとしている。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に考察している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真を適切に活用している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の地形 ・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
2	第Ⅰ部　さまざまな地図と地理的技能 １章　地理情報と地図 ２章　地図の活用と地域調査	10	3	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、関心を持って学習しようとしている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、関心を持って学習しようとしている。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に考察している。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に考察している。	・地形図や統計地図を適切に活用している。 ・地域調査において、実際の地域調査を通して資料を適切に活用している。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、基本的な知識を身につけている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題について、基本的な知識を身につけている。	地理情報と地図 ・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に理解する。 地図の活用と地域調査 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に理解する。	・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
3	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ２節　世界の気候	10	4	・気候を構成している気候要素について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候を構成している気候要素について、多角的に考察している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、多角的に考察している。	・気候を構成している気候要素について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・気候を構成している気候要素について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の気候 ・気候を構成している気候要素について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
4	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ３節　日本の自然の特徴と人々の生活	10	4	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、多角的に考察している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、基本的な知識を身につけている。	日本の自然の特徴と人々の生活 ・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
5	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境 ４節　環境問題	10	4	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体例を通して問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、基本的な知識を身につけている。	環境問題 ・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

6	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 １節　産業の発達と変化 ２節　世界の農林水産業	11	4	・世界の農業に影響を与える要因について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・世界の農業に影響を与える要因について、多角的に考察している。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、多角的に考察している。	・世界の農業に影響を与える要因について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の農林水産業について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の農業に影響を与える要因について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の農林水産業について、基本的な知識を身につけている。	産業の発達と変化 世界の農林水産業 ・世界の農業に影響を与える要因について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の農業に影響を与える要因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・世界の農林水産業について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
7	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ３節　食料問題	11	4	・世界の食料問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の食料問題の現状とその原因について、多角的に考察している。	・世界の食料問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の食料問題の現状とその原因について、基本的な知識を身につけている。	食料問題 ・世界の食料問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の食料問題の現状とその原因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
8	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ４節　世界のエネルギー・鉱産資源 ５節　資源・エネルギー問題	11	4	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、関心を持って学習しようとしている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、関心を持って学習しようとしている。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、多角的に考察している。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・資源・エネルギー問題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、基本的な知識を身につけている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みについて、基本的な知識を身につけている。	世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、具体事例を通して多角的に理解する。 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
9	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ６節　世界の工業	11	4	・さまざまな工業の特色と立地条件について、関心を持って学習しようとしている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、関心を持って学習しようとしている。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、多角的に考察している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、多角的に考察している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、基本的な知識を身につけている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、基本的な知識を身につけている。	資源と産業 ・さまざまな工業の特色と立地条件について、具体事例を通して多角的に理解する。 世界の工業 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど、具体事例を通して多角的に理解する。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
10	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ７節　第３次産業	11	4	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、関心を持って学習しようとしている。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、多角的に考察している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、基本的な知識を身につけている。	第３次産業 ・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、具体事例を通して多角的に理解する。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
11	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ８節　世界を結ぶ交通・通信	12	4	・世界の交通網の地域差とその発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・情報化社会における現状と課題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の交通網の地域差とその発達について、多角的に考察している。 ・情報化社会における現状と課題について、多角的に考察している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・情報化社会における現状と課題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、基本的な知識を身につけている。 ・情報化社会における現状と課題について、基本的な知識を身につけている。	世界を結ぶ交通・通信 ・世界の交通網の地域差とその発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・情報化社会における現状と課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の交通網の地域差とその発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・情報化社会における現状と課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
12	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ２章　資源と産業 ９節　現代世界の貿易と経済圏	12	4	・貿易における国際分業や貿易の種類について、関心を持って学習しようとしている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、関心を持って学習しようとしている。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、多角的に考察している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、多角的に考察している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、基本的な知識を身につけている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、基本的な知識を身につけている。	現代世界の貿易と経済圏 ・貿易における国際分業や貿易の種類について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、具体事例を通して多角的に理解する。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

13	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ３章　人口・村落・都市 １節　世界の人口 ２節　人口問題	12	4	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、関心を持って学習しようとしている。 ・発展途上国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。 ・先進国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、多角的に考察している。 ・発展途上国の人口問題について、多角的に考察している。 ・先進国の人口問題について、多角的に考察している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・発展途上国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・先進国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、基本的な知識を身につけている。 ・発展途上国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。 ・先進国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。	世界の人口 ・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、具体事例を通して多角的に理解する。 人口問題 ・発展途上国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・先進国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・発展途上国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・先進国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
14	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ３章　人口・村落・都市 ３節　村落と都市 ４節　都市・居住問題	12	4	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、関心を持って学習しようとしている。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、多角的に考察している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、多角的に考察している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、基本的な知識を身につけている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、基本的な知識を身につけている。	村落と都市 ・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 都市・居住問題 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
15	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 １節　生活文化	12	4	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、多角的に考察している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、基本的な知識を身につけている。	生活文化 ・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
16	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 ２節　民族と宗教	12	4	・人種・民族の分類などについて、関心を持って学習しようとしている。 ・諸民族の生活の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・人種・民族の分類などについて、多角的に考察している。 ・諸民族の生活の特色について、多角的に考察している。	・人種・民族の分類などについて、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・諸民族の生活の特色について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・人種・民族の分類などについて、基本的な知識を身につけている。 ・諸民族の生活の特色について、基本的な知識を身につけている。	民族と宗教 ・人種・民族の分類などについて、具体事例を通して多角的に理解する。 ・諸民族の生活の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・人種・民族の分類などについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・諸民族の生活の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
17	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 ４章　生活文化、民族・宗教 ３節　現代世界の国家 ４節　民族・領土問題	1	4	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、関心を持って学習しようとしている。 ・民族・領土問題について、関心を持って学習しようとしている。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、多角的に考察している。 ・民族・領土問題について、多角的に考察している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・民族・領土問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、基本的な知識を身につけている。 ・民族・領土問題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の国家 ・国家の三要素や、国家の様々な形態について、具体事例を通して多角的に理解する。 民族・領土問題 ・民族・領土問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・民族・領土問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
18	第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察 １章　現代世界の地域区分 ２章　現代世界の諸地域	1	4	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、関心を持って学習しようとしている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、関心を持って学習しようとしている。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、多角的に考察している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、多角的に考察している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、基本的な知識を身につけている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の地域区分 ・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、具体事例を通して多角的に理解する。 現代世界の諸地域 ・各地域の概況や抱えている課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・各地域の概況や抱えている課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

令和３年度　地歴・公民科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習現代社会	普通科理系	3年（後期）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		独自教材（自作プリント）	

科目の目標	１．現代社会と人間について、広い視野に立って深く理解を深める。 ２．現代社会の基本的な問題について、主体的に考察し公正に判断する力を養う。 ３．現代社会を生きていく良識ある公民として必要な能力と態度を育て、様々な課題に対応する思考力、判断力を高める。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト

「演習現代社会」指 導 と 評 価 の 年 間 計 画

福井県立高志高等学校 普通科 3年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度 （評価の方法） ・行動観察 ・課題提出状況	思考・判断・表現 （評価の方法） ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	技能 （評価の方法） ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	知識・理解 （評価の方法） ・定期考査 ・小テスト		
1	○日本国憲法と民主政治	11 12	16	日本国憲法の三大原理である基本的人権の尊重や国民主権、平和主義については勿論のこと、新しい人権、国会・内閣・裁判所について関心を高め、自己の生き方と関連させながら考えようとしている。	基本的人権の内容である自由権・参政権・社会権が歴史的にどのように発展してきたか、また、新しい人権など現代議論となっている事項について考察し、自分の考えをまとめ表現している。	人権保障の考え方と、日本国憲法をはじめとした法に関する様々な資料を活用し、学習に必要な情報を適切に選択して、読み取ったりまとめたりしている。	日本国憲法の成立過程と、その基本原理について、基本的人権がどのように保障されているのか、新しい人権についての考え方、人権保障と公共の福祉の関係などについて理解している。また、国民主権に基づき、国会・内閣・裁判所がどのように組みたてられているかを理解している。	1　日本国憲法の基本原理 ・日本国憲法と三つの原理 ・基本的人権の保障 ・新しい人権と人権保障 2　日本の政治機構 ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 3　現代政治の課題	・法の下の平等に関する資料を読み、差別のない世の中をつくるためにはどうすればよいかについて議論を行う。 ・平等権、自由権、社会権、新しい人権に関する判例を読んで論点を理解し、その内容を説明する。
2	○現代社会と法	1	10	なぜ基本的な人権の保障や法の支配の実現が大切なのかを現代の政治や司法などのとの関連に留意して考えようとしている。	生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察している。また裁判員制度の必要性と課題について考え、自分の言葉で表現している。	裁判員制度に関する資料の収集を通して、国民の司法参加の意義、裁判員制度の概要などについての有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	個人の尊重の原理を基礎として、日本国憲法と関連させながら、基本的人権の保障に関する理解を深めるとともに、法の支配や法や規範の意義、役割、司法制度の在り方（裁判員制度も含め）などについて理解している。	1　法の働き ・法の支配と人権 ・市民生活と法 2　司法と人権 ・司法と人権 ・裁判員制度について	・法と道徳は何が違うのか，また両者はどのように関係しているのか，を考えて意見交換を行う。
3	○経済の仕組み	1 2	11	身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、国や地方の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸問題について意欲的に追究しようとしている。また、消費者問題や労働、金融、財政などと、自分の現在、将来が密接に関わっていることに関心を持ち、討論などに積極的に取り組んでいる。	経済成長や景気変動が国民福祉の向上とどのような関係があるのかについて考察している。また、現代の経済社会における個人や企業はどのような目的で経済活動を行っており、経済活動に対してどのような責任があるのか、そしてなぜそのような社会的責任を担う必要があるのかということを判断、表現している。	需要量、供給量と価格の関係や、商品による価格変動の違いなどについて、統計資料などから読み取っている。また、企業の寡占・独占、非価格競争、雇用に関する課題などについて情報を収集・選択し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。	寡占や独占、外部不経済などの市場経済の限界、金融市場の仕組み、中央銀行の役割や金融政策の目的と手段、経済成長の要因、近年の雇用や労働問題の動向、社会保障などについて理解するとともに、市場経済の基本的な考えを身につけ、その考えを活用して経済的事象をとらえている。	1　経済の仕組み ・現代の企業 ・市場経済のしくみ ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと働き ・中央銀行の役割と金融の自由化 ・政府の役割と財政 2　変化する日本経済 ・戦後復興と高度経済成長 ・産業構造の転換 ・バブル崩壊後から現在までの日本経済	・好景気、不景気の際の政府と日本銀行の役割と施策について話し合いを行う。 ・今後、産業・技術が高度化していき、ますます進展していくであろう格差社会について、議論を行う。
4	○国際政治・経済と国際社会	2 3	18	国際連合の法律や取り組みが、私たちの身近な生活とも関わりがあることに気づき、主体的に追求しようとしている。グローバル化が進展するにつれ経済格差が広がっている国際社会において、その解消に向けてどのようにしていけばよいか積極的に討論に取り組んでいる。	国際連合の法律や取り組みが、国際社会に果たしている役割について考え、また国際社会に生きる日本がどのような役割を担うべきかを判断、表現している。経済のグローバル化の進展についてそのメリットとデメリット、今後の動向について考察し、表現している。	国際連合および国連機関が取り組んでいる活動について資料・情報を収集し、知識・理解および思考・判断に役立てている。国際貿易に関する資料（グラフや図など）を複数用いて、それらを統合して分析することをしている。	国際連合の仕組みと役割、抱えている課題について理解している。貿易と国際分業の現状を把握し、経済のグローバル化が進展していることを理解している。またその結果生じた大きな経済格差の状況（南北問題や南南問題など）を的確にとらえている。	1　国際政治の仕組みと動向 ・国際社会の特質 ・国際連合の役割と課題、安全保障について ・冷戦後の世界 2　国際経済の仕組みと動向 ・貿易と国際分業 ・外国為替の仕組みと国際収支 ・グローバル化する経済 3　国際社会の現状と課題 ・国際的な格差について ・地域紛争と難民問題	・国際連合および国連機関が取り組んでいることについて発表し合う。 ・国際貿易が進展し、グローバル化が進展するにつれ経済格差が広がっている国際社会において、その解消に向けてどのようにしていけばよいか議論し合う。
5	○現代社会における諸課題	2 3	15	尊厳死や安楽死など従来の生命観・価値観では判断が難しい問題について、主体的に考え、自分なりの判断を出そうと追求している。地球温暖化や砂漠化などの地球環境問題が身近な問題であると捉え、持続可能な開発に向けてどのようにしていけばよいか積極的に発表に取り組んでいる。	尊厳死や安楽死の事例を通して、従来の生命観では判断することが難しい問題について主体的に考えることができる。地球温暖化や砂漠化などの地球環境問題の現状と課題について考察し、表現している。また、持続可能な開発に向けてどのようなことができるか考え、よりよい方法（取り組み）を判断している。	脳死や尊厳死、安楽死また情報化の進展に関する資料を適切に収集し、分析に用いることができている。地球温暖化や砂漠化などの環境問題に関する資料（分布やデータ）を複数用いて、それらを比較、関連付けながら分析している。	脳死やインフォームドコンセント、尊厳死や安楽死、遺伝子組み換え作物などの定義や考え方を理解している。地球温暖化や酸性雨、オゾン層破壊、砂漠化の現状と要因を理解している。持続可能な開発に向けた世界、日本の取り組みを理解している。	1　科学技術の発達と生命 ・医療技術の発達と生命倫理 ・脳死と臓器移植 ・遺伝子組み換え作物について 2　情報化の進展 ・情報化の進展と社会の変化 3　地球環境問題 ・地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊、砂漠化 ・持続可能な開発に向けて	・尊厳死と安楽死について、賛成・反対の立場に立ち議論する。 ・地球環境問題について、各自一つテーマを決め、その現状と課題、解決策について発表し合う。

令和３年度　数学科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学Ⅲ	普通科（高入生）理系	３年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍　数学Ⅲ　Advanced		問題集　数研出版　サクシード 数学Ⅲ 参考書　数研出版　チャート式　基礎からの数学Ⅲ 問題集　オリジナルスタンダード数学演習Ⅲ クリアー数学演習Ⅲ 大学入学共通テスト対策ニュースタンダード数学演習Ⅰ・Ａ＋Ⅱ・Ｂ	

科目の目標	複素数平面について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
複素数平面に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，複素数平面における数学的な見方や考え方を身に付けている。	複素数平面において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	複素数平面における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。

「数学Ⅲ」　　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科　３年

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4	第２章 複素数平面	第１節 複素数平面	8	・複素数を極形式で表したり，複素数平面上に図示したりすることに関心をもち，それらを用いていろいろな複素数についての考察や具体的事象についての考察をしようとする。	・複素数平面の性質を活用したり，複素数を極形式で表したりして，図形的な意味と関連させて複素数についての考察をすることができる。	・複素数を極形式で表したり，その演算を図示したりすることができる。 ・ド・モアブルの定理を用いて，極形式で表された複素数のｎ乗の値を求めることができる。	・複素数平面の定義および複素数の和，差，実数倍，絶対値などの図形的な意味を理解している。 ・複素数の極形式および複素数の積の図形的意味を理解している。	実力評価テスト 週末課題 小テスト 前期中間考査①
		第２節 図形への応用	10	・複素数を用いたいろいろな表現と複素数平面上の図形との関連に関心をもち，いろいろな図形の考察に複素数の性質を用いようとする。	・複素数の演算と複素数平面上の図形との関連を活用して，２点の内分および外分点，任意の点を中心とする回転，２定点からの距離の比が一定である点の軌跡などの図形の考察をすることができる。	・複素数平面上にある２点の内分および外分点を表す複素数，任意の点を中心に回転させた点を表す複素数，２直線のなす角，２定点からの距離の比が一定である任意の点が表す図形を，複素数の性質を用いて求めることができる。	・複素数平面上の図形と，複素数を用いた表示との関連を理解している。	
5 ～ 9	複数分野融合および分野が特定できない問題を扱う総合演習		52	・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，関連分野における数学的な見方や考え方を身に付けている。	・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。	週末課題 小テスト 前期中間考査② 前期期末考査
			70					

令和３年度　数学科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系数学Ⅲ＋	普通科理系	３年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍　数学Ⅲ Advanced		参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅲ 問題集 数研出版 クリアー数学演習Ⅲ受験編 大学入学共通テスト対応問題集	

科目の目標	数学Ⅲの演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や問題解決に応用する力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分に関心をもつとともに、それらを融合して、事象の考察に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分における数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「理系数学Ⅲ＋」　　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科　3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4 ｜ 9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		70	・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。	実力評価テスト① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10 ｜ 11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式/マーク式）を扱う総合演習		35					実力評価テスト②
12 ｜	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		35					後期中間考査①
			140					

令和３年度　数学科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系数学Ⅲ＋＋	普通科理系	３年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍　数学Ⅲ Advanced		参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅲ 問題集 数研出版 オリジナルスタンダード数学演習Ⅲ受験編 大学入学共通テスト対応問題集	

科目の目標	数学Ⅲの演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や高度な問題解決に応用する力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分の各分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上の曲線，複素数平面，関数と極限，微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「理系数学Ⅲ＋＋」　　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科　3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4 ― 9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		70	・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。	実力評価テスト① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10 ― 11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		35					実力評価テスト②
12 ―	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		35					後期中間考査①
			140					

令和３年度　数学科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系数学ｉａⅱｂ＋	普通科理系	３年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍　数学Ⅰ Advanced 東京書籍　数学Ａ Advanced 東京書籍　数学Ⅱ Advanced 東京書籍　数学Ｂ Advanced		参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅰ＋Ａ 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅱ＋Ｂ 問題集 数研出版 大学入試共通テスト対策ニュースタンダード 数学演習Ⅰ・Ａ＋Ⅱ・Ｂ受験編 大学入学共通テスト対応問題集	

科目の目標	数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂの演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や問題解決に応用する力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルの学習内容に関心をもつとともに，それらを融合して、事象の考察に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルの各分野における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「理系数学ｉａⅱｂ＋」　　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科　3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4 ｜ 9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（マーク式）を扱う総合演習		70	・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。	実力評価テスト① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10 ｜ 11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（マーク式）を扱う総合演習		35					実力評価テスト②
12 ｜	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		35					後期中間考査①
			140					

令和３年度　数学科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系数学ｉａⅱｂ＋	普通科理系	３年	3

教科書（出版社・タイトル）	補助教材等
東京書籍　数学Ⅰ Advanced 東京書籍　数学Ａ Advanced 東京書籍　数学Ⅱ Advanced 東京書籍　数学Ｂ Advanced	参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅰ＋Ａ 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅱ＋Ｂ 問題集 数研出版 クリアー数学演習Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂ受験編 大学入学共通テスト対応問題集

科目の目標	数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂの演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や問題解決に応用する力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルの学習内容に関心をもつとともに，それらを融合して、事象の考察に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルの各分野における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「理系数学ｉａⅱｂ＋」　　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科　3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4 ｜ 9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		50	・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。	実力評価テスト① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10 ｜ 11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式/マーク式）を扱う総合演習		23					実力評価テスト②
12 ｜	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		32					後期中間考査①
			105					

令和３年度　数学科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
理系数学ｉａⅱｂ＋＋	普通科理系	３年	3

教科書（出版社・タイトル）	補助教材等
東京書籍　数学Ⅰ Advanced 東京書籍　数学Ａ Advanced 東京書籍　数学Ⅱ Advanced 東京書籍　数学Ｂ Advanced	参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅰ＋Ａ 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅱ＋Ｂ 問題集 数研出版 スタンダード数学演習Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂ受験編 大学入学共通テスト対応問題集

科目の目標	数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂの演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や高度な問題解決に応用する力を育てる。

評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルの学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルの各分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析,場合の数と確率，整数の性質，図形の性質，いろいろな式、図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分、数列およびベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「理系数学ｉａⅱｂ＋＋」　　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科　3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4 ― 9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		50	・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。	実力評価テスト① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10 ― 11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		23					実力評価テスト②
12 ―	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		32					後期中間考査①
			105					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
物理	普通科（高入生）理系	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版・改訂版　物理		ＮＥＷ　ＧＬＯＢＡＬ　物理基礎＋物理（東京書籍）	

科目の目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち，主体的に探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め，知識を身につけている。

「物理」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	評価の観点および評価規準 関心･意欲･態度	思考･判断･表現	観察･実験の技能	知識･理解	評価方法
4	第４編　電気と磁気第１章電場	1　静電気 ・電気現象は電子の振る舞いに起因することを理解させる。 ・クーロンの法則を理解させる。	3	静電気はどのようにして生じるのか，また電荷どうしが及ぼしあう力の間にはどのような法則が存在するのかに興味・関心がある。	2つの点電荷の間にはたらく静電気力は，クーロンの法則について考察し判断できる。	帯電した棒と箔検電器を用いた実験に関する観察・実験の技能を習得している。	電子と陽子の電気量の大きさは等しいことと，電気量保存の法則を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		2　電場 ・電荷のまわりにできる電場は，試験電荷にはたらく静電気力のベクトルであることを理解させる。 ・電場のようすは電気力線によって表されることを理解させる。	4	空間に電気的な性質を帯びた電場が生じていることに対して，意欲的に探究し研究を行おうとしている。	電場の定義を正しく理解し，考察し判断できる。	単独，あるいは複数の電荷が固定されて置いてあるとき，これらのまわりの電場のようすを電気力線を用いて描くことができる。	電荷Qの帯電体から出る電気力線の総数が$4\pi kQ$本であることを理解し，電荷のまわりの電場の強さや向きについて理解し活用できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		3　.電位 ・試験電荷を運ぶときに外力のする仕事により電位 ・電位差が定まることを理解させる。	3	電場の中での電荷の運動を，重力場の中での物体の運動と対比させて電気現象を考え，理解していくことに，興味・関心を示している。	電気的な力や空間の性質について，電位という新しい概念で捉え，表現することができる。	単独あるいは複数の電荷が固定されて置いてあるとき，これらのまわりの電場と電位のようすを電気力線と等電位面を用いて作図することができる。	電界と電位の関係ついて理解し，それらの知識に基づいて電界の様子をイメージし定量的に扱うことができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
5		4　物質と電場 ・静電誘導、誘電分極について電場、電位と関連づけて理解させる。	2	帯電体を近づけると，導体と不導体は帯電体に引き寄せられる。この理由を知ることに関心を示している。	静電誘導と誘電分極の現象を説明することができる。		外部から電気力線を加えても，導体内部には電気力線が入りこめない理由を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		5　コンデンサー ・電場と電位，電場内に置かれた導体や不導体のふるまいなど，既習事項と関連させながらコンデンサーを理解させる。	8	電気を蓄えるにはどのようにしたらよいか，またより多くの電気を蓄えるにはどのようにしたらよいかに興味を示している。	電場，電位の知識を使ってコンデンサーの原理について考察し判断できる。	箔検電器を用いて平行板コンデンサーの電気容量の大きさはどのようにすると変わるかを実験して確かめてみることができる。	コンデンサーの直列接続，並列接続の公式を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
	第２章　電流		2	電流の流れ方は物質の種類やつなぎ方によってどのように異なるかということに興味をもっている。	電流や電気抵抗の意味を正しく理解し，オームの法則や電力，電力量，ジュール熱の式を導くことができる。	抵抗率と温度の関係を観察より的確に整理している。	電流に関する現象について，電流の基本的な概念を形成することで，電流I＝envSであることを導出し，理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		2　直流回路 ・キルヒホッフの法則を水流回路との対比を用いながら理解させる。	4	直流電源と抵抗からなる複雑な回路網があるとき，回路のどの部分にはいくらの電流が流れているか，また電流計のしくみはどのようになっているかに興味を示している。	電流計や電圧計の測定範囲を大きくするにはどのようにしたらよいかが判断できる。	電池に内部抵抗があることを理解し，電池の端子電圧が起電力から内部抵抗による電圧降下を引いたものであることを式とグラフで表現することができる。	「起電力」と「電圧降下」の意味を理解しており，キルヒホッフの法則を正しく用いて電流回路における規則性を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		3　半導体・半導体について，電流が流れるしくみや特徴を理解させる。	2	多くの電子機器に利用されていることを知り，半導体に興味や関心をもつことができる。	半導体のキャリアについて理解し，真性半導体と不純物半導体の性質の違いを判断することができる。		p型半導体，n型半導体とは何か，また半導体ダイオードやトランジスターのしくみとはたらきについて理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析

6	第３章　電流と磁場	１　磁場・磁場について定義をし，磁化，および磁性体について理解させる。	2	磁石や磁気がわれわれの生活のさまざまなところで利用されていることに興味を示している。	磁場の中に置かれた物質がどのように磁化されるかを考察し，表現することができる。	砂鉄や方位磁針を用いて，磁石のまわりにできる磁場のようすを調べ，磁場の向きや磁場の強さの強弱を判断することができる。	磁気量について，磁気力に関するクーロンの法則や磁場の定義の中でどのように使われているかを通して理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		２　電流のつくる磁場 ・電流が周囲につくる磁場ついて電流・磁場の関係を理解させる。	4	導線に電流を流すと導線のまわりに磁場ができることに驚きと興味を示し，より深くこのことについて学ぼうとしている。	直線電流がつくる磁場のようすを理解した後，円形電流がどのような磁場をつくるのかを予想できる。	砂鉄や方位磁針を用いて，直線電流や円形電流，ソレノイドのまわりにできる磁場のようすを調べ，磁場の向きや磁場の強さの強弱を判断することができる。	直線電流，円形電流，ソレノイドのつくる磁場についての公式を理解し活用できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		３　電流が磁場から受ける力 ・平行電流が及ぼしあう力についてその向きと大きさとを理解させる。	4	電気ブランコから，電流が磁場から受ける力について関心を示している。	フレミングの左手の法則を用いて，電流の流れている導線がどの向きに力を受けるかを判断することができる。	平行電流が及ぼしあう力を観察し的確に整理できる。	「透磁率」，「比透磁率」，「磁束密度」，「磁束」などの物理量の意味を理解している。また，平行電流が及ぼしあう力について，定量的･定性的に理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		４　ローレンツ力・電流が磁場から受ける力を微視的に考察し，運動する荷電粒子が磁場から受ける力について理解する。	4	電流の流れている導線が磁石から力を受けるという現象の本質は，実は導線中を流れている自由電子の1つ1つが磁場から力を受けているのだということに関心を示している。	磁場中を運動する荷電粒子の運動を，磁場の向きと荷電粒子とのなす角との関係から的確に判断できる。		ローレンツ力を応用したものに，「ホール効果」や「サイクロトロン」があるが，これらの原理を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
7	第４章　電磁誘導と電磁波	１　電磁誘導の法則 ・誘導起電力について，ファラデーの電磁誘導の法則，エネルギーの移り変わり，磁場によるローレンツ力など，異なる観点から理解させるようにする。	3	日常生活で欠かすことのできない「交流発電機」や，「電磁波を発生させる原理」は，いずれも電磁誘導という現象がもとになっているのだということに強い学習の意義を感じている。	電磁誘導の法則を用いて誘導起電力の大きさを求めることができる。また，レンツの法則を用いて誘導起電力の向きを判断することができる。	渦電流の効果を実験で確認し，その効果と電磁誘導の関係について説明ができる。	磁場を横切る導線に生じる誘導起電力の向きと大きさを理解できている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		２　交流の発生・交流の発生のしくみと，交流電圧（の瞬時値）がＶ＝Ｖ０sinω ｔで表されること，交流の実効値について理解させる。	2	身近にある自転車の発電機の原理はどのようになっているかということに興味･関心をもっている。また，交流そのものについての知識をもとうとする意欲がある。	回転するコイルにどのような向きの誘導起電力が生じるかを思考･判断することができる。	ハンドジェネレーターを利用して，オシロスコープに表示される交流電圧の波形を観察することができる。	交流電圧の公式を理解している。また，交流電流･交流電圧の実効値の意味を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析・実験プリント・定期テストによる理解度、定着度分析
		３　自己誘導と相互誘導 ・ファラデーの法則と関連づけて，自己誘導および磁場のエネルギーを理解させる。	3	電車のパンタグラフでの電気火花や蛍光灯のスターターランプ(グローランプ)，変圧器はともにインダクタンスが関係している。このことから，インダクタンスを学習する意欲･関心をもっている。	自己誘導起電力の大きさ，および相互誘導起電力を表す式を，ともにファラデーの電磁誘導の法則の式から説明することができる。	コイルに電池，ネオン管，スイッチを配線した実験装置から，自己誘導のようすを観察することができる。	コイルに蓄えられるエネルギーを表す式が導き出される過程を説明することができる。	・ワークシートの記述内容の分析・実験プリント・定期テストによる理解度、定着度分析
		４　交流回路・交流回路，共振回路について理解させる。	4	コイルやコンデンサーに電圧を加えるとき，直流電圧の場合と交流電圧の場合とではそれらのふるまいが全く異なることに興味をもっている。	コイルやコンデンサーのそれぞれに交流電流が流れるときには，電力は sin関数的に変化し，そのため時間平均が0となることを理解している。	交流回路における電流，電圧の位相差をベクトル図の作図から，的確に整理することができる。	コイル･コンデンサーのリアクタンスについて理解している。また，共振回路がラジオやテレビの受信回路で使われている理由や電気振動におけるコイルの磁場とコンデンサーの電場の変化のようすを説明できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析

		5　電磁波・電磁波の発生のしくみについて理解させる。	1	単にテレビなどに使われる電波だけでなく，光，X線，γ線も電磁波の一種である。その電磁波はどのように発生するのか，またなぜ波であるといえるのか，に関心を示している。	磁場は変化すると電場を生じ，電場が変化すると磁場を生じる。このことが電磁波の発生と伝搬の鍵を握っていることが理解できている。	電磁波の波動としての性質を，観察を通してイメージできるようになる。	電磁波はその波長により，ふるまいが大きく異なるので，波長により分類することができること，高温の物体からはその温度により決められる波長分布の熱放射の電磁波が出ていることを知っている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
9	第５編　原子 第１章　電子と光	１　.電子・トムソンの実験とミリカンの実験とから，電子の比電荷，電荷，質量の各値がどのように得られたかを理解させる。	2	電子がどのようにして発見されたのか，また電子の電荷や質量はどのようにして測定されたのかに興味を示している。	陰極線の正体が電子線であったことの歴史的過程が理解できている。また，電子の比電荷の値を求めたJ.J.トムソンの実験のしくみが理解できている。	ミリカンの油滴実験は測定値である電気量をもとにどのようにして電気素量を決定したのかをデータから整理できる。	電子の比電荷の値と電気素量より，電子の質量が9.11×10^{-31}kgであることを算出することができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		２　光の粒子性・光電効果を理解させる。	2	物質（粒子）でも，エネルギー（電磁波のような）でも，それらが非常に小さなもの（エネルギーの場合は「弱い」）になったとき，大きなものでは現れなかった別の性質やふるまいを示すようになることに興味・関心を示している。	光電効果の実験結果を，光量子説により説明できる。	はく検電器を用いて，光電効果の実験を行い，負に帯電した検電器からしか電子が飛び出さないことを確認できる。	ミクロなエネルギー量を表現するときに用いる「電子ボルト」という単位の意味を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		３　X線・X線の量子性，波動性をX線回折，コンプトン効果より理解させる。	2	病院の検査などで使われているX線とはどのようなものであるかに関心を示している。	X線の発生機構が理解できている。また，発生する最短波長を求める式を導き出す過程が説明できている。		X線回折におけるブラッグの条件について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		４　粒子の波動性・光の粒子性と対比しながら，電子に波動性があることを理解させる。	2	電子顕微鏡は電子が波動としてふるまう性質を応用したものである。この，一見すると相反する波動性と粒子性をあわせもつ二重性について，興味・関心を示している。	電子顕微鏡のしくみを説明できる。		質量をもった粒子がある速さで運動しているとき，この物質波のドブロイ波長を求めることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
	第２章　原子と原子核	１　原子の構造とエネルギー準位 ・ボーアの水素原子模型について説明し，水素原子のエネルギー準位を理解させる。	2	プラスの電荷とマイナスの電荷からなる原子はどのようなしくみになっているのかに興味・関心を示している。	原子の構造が，正の電気をもった原子核のまわりを電子が回っているとする模型が正しいことを証明するためにラザフォードらが行った実験を理解できる。	さまざまなスペクトルを観察できる。	原子の発するスペクトルは，原子核のまわりを回る電子がとびとびのエネルギー準位をもつことから説明されることを理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		２　原子核・核力，同位体について理解させる。	1	原子核はどのようなものからできているのか，また核エネルギーはどのようにして発生するのだろうかということに関心がある。	極小の物体からなる核子どうしが堅く結びあっていられることについて，万有引力や静電気力では説明できない理由を言うことができる。		「原子・原子核」を表す記号から，原子核を構成する陽子・中性子の数を求めることができる。また，複数の同位体からなる元素の原子量を計算で求めることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		３　放射線とその性質 ・α崩壊とβ崩壊を行うと原子核の質量数や原子番号がどのように変化するかを理解させる。 ・半減期について理解させる。	1	さまざまな工業分野で利用されている放射線について，興味・関心を示している。	α線，β線，γ線の正体や，α崩壊，β崩壊のしくみが理解できている。	さいころを使った実験で半減期のシミュレーションをし，半減期の意味を理解できている。	放射能と放射線の測定単位の定義を理解している。また，放射線による影響と放射線の利用にはどのようなものがあるかがわかっている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析

		4　核反応と核エネルギー ・質量欠損，結合エネルギーの定義を正しく理解させる。	2	核エネルギーとは何か，どうしてあのような莫大な量のエネルギーが取り出せるのかに，興味･関心を示している。	核反応の前後で原子核の質量が減少すること，およびその質量差に相当するエネルギーが核エネルギーとして解放されることを定量的に説明できる。		核反応を式に表すことができる。結合エネルギーの定義を知っており，核子1個当たりの結合エネルギーの大きいほうが壊れにくいことを理解している。核分裂反応･核融合反応について，定性的，定量的に理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		5　素粒子 ・自然の階層性について理解させる。	1	物質の最小単位は何か，また自然界にはどのような力が存在するのか，などに興味･関心を示している。	素粒子はそれらがはたらく力の種類により，どのような種類に分類されるのか，クォークとは何か，ゲージ粒子とは何か，また自然界に存在する4つの力とは何か，などについて説明することができる。		さまざまなハドロンがどのクォークで構成されているか調べ，それらの電気量の値をクォークの種類より算出することができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
物理	普通科（内進生）理系	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版・改訂版　物理		ＮＥＷ　ＧＬＯＢＡＬ　物理基礎＋物理（東京書籍）	

科目の目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち，主体的に探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め，知識を身につけている。

「物理」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	評価の観点および評価規準 関心･意欲･態度	思考･判断･表現	観察･実験の技能	知識･理解	評価方法
4	第２章　電流	1　オームの法則 ・導体の抵抗率は，温度上昇に伴い大きくなることを理解させる。	4	電流の流れ方は物質の種類やつなぎ方によってどのように異なるかということに興味をもっている。	電流や電気抵抗の意味を正しく理解し，オームの法則や電力，電力量，ジュール熱の式を導くことができる。	抵抗率と温度の関係を観察より的確に整理している。	電流に関する現象について，電流の基本的な概念を形成することで，電流I＝envSであることを導出し，理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		2　直流回路 ・キルヒホッフの法則を水流回路との対比を用いながら理解させる。	4	直流電源と抵抗からなる複雑な回路網があるとき，回路のどの部分にはいくらの電流が流れているか，また電流計のしくみはどのようになっているかに興味を示している。	電流計や電圧計の測定範囲を大きくするにはどのようにしたらよいかが判断できる。	電池に内部抵抗があることを理解し，電池の端子電圧が起電力から内部抵抗による電圧降下を引いたものであることを式とグラフで表現することができる。	「起電力」と「電圧降下」の意味を理解しており，キルヒホッフの法則を正しく用いて電流回路における規則性を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		3　半導体・半導体について，電流が流れるしくみや特徴を理解させる。	2	多くの電子機器に利用されていることを知り，半導体に興味や関心をもつことができる。	半導体のキャリアについて理解し，真性半導体と不純物半導体の性質の違いを判断することができる。		p型半導体，n型半導体とは何か，また半導体ダイオードやトランジスターのしくみとはたらきについて理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
5	第３章　電流と磁場	1　磁場・磁場について定義をし，磁化，および磁性体について理解させる。	2	磁石や磁気がわれわれの生活のさまざまなところで利用されていることに興味を示している。	磁場の中に置かれた物質がどのように磁化されるかを考察し，表現することができる。	砂鉄や方位磁針を用いて，磁石のまわりにできる磁場のようすを調べ，磁場の向きや磁場の強さの強弱を判断することができる。	磁気量について，磁気力に関するクーロンの法則や磁場の定義の中でどのように使われているかを通して理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		2　電流のつくる磁場 ・電流が周囲につくる磁場ついて電流・磁場の関係を理解させる。	4	導線に電流を流すと導線のまわりに磁場ができることに驚きと興味を示し，より深くこのことについて学ぼうとしている。	直線電流がつくる磁場のようすを理解した後，円形電流がどのような磁場をつくるのかを予想できる。	砂鉄や方位磁針を用いて，直線電流や円形電流，ソレノイドのまわりにできる磁場のようすを調べ，磁場の向きや磁場の強さの強弱を判断することができる。	直線電流，円形電流，ソレノイドのつくる磁場についての公式を理解し活用できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		3　電流が磁場から受ける力 ・平行電流が及ぼしあう力についてその向きと大きさとを理解させる。	5	電気ブランコから，電流が磁場から受ける力について関心を示している。	フレミングの左手の法則を用いて，電流の流れている導線がどの向きに力を受けるかを判断することができる。	平行電流が及ぼしあう力を観察し的確に整理できる。	「透磁率」，「比透磁率」，「磁束密度」，「磁束」などの物理量の意味を理解している。また，平行電流が及ぼしあう力について，定量的･定性的に理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		4　ローレンツ力・電流が磁場から受ける力を微視的に考察し，運動する荷電粒子が磁場から受ける力について理解する。	4	電流の流れている導線が磁石から力を受けるという現象の本質は，実は導線中を流れている自由電子の1つ1つが磁場から力を受けているのだということに関心を示している。	磁場中を運動する荷電粒子の運動を，磁場の向きと荷電粒子とのなす角との関係から的確に判断できる。		ローレンツ力を応用したものに，「ホール効果」や「サイクロトロン」があるが，これらの原理を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析

6	第４章　電磁誘導と電磁波	１　電磁誘導の法則 ・誘導起電力について，ファラデーの電磁誘導の法則，エネルギーの移り変わり，磁場によるローレンツ力など，異なる観点から理解させるようにする。	5	日常生活で欠かすことのできない「交流発電機」や，「電磁波を発生させる原理」は，いずれも電磁誘導という現象がもとになっているのだということに強い学習の意義を感じている。	電磁誘導の法則を用いて誘導起電力の大きさを求めることができる。また，レンツの法則を用いて誘導起電力の向きを判断することができる。	渦電流の効果を実験で確認し，その効果と電磁誘導の関係について説明ができる。	磁場を横切る導線に生じる誘導起電力の向きと大きさを理解できている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
		２　交流の発生・交流の発生のしくみと，交流電圧（の瞬時値）がＶ＝Ｖ０sinωｔで表されること，交流の実効値について理解させる。	4	身近にある自転車の発電機の原理はどのようになっているかということに興味・関心をもっている。また，交流そのものについての知識をもとうとする意欲がある。	回転するコイルにどのような向きの誘導起電力が生じるかを思考・判断することができる。	ハンドジェネレーターを利用して，オシロスコープに表示される交流電圧の波形を観察することができる。	交流電圧の公式を理解している。また，交流電流・交流電圧の実効値の意味を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析・実験プリント・定期テストによる理解度、定着度分析
		３　自己誘導と相互誘導 ・ファラデーの法則と関連づけて，自己誘導および磁場のエネルギーを理解させる。	5	電車のパンタグラフでの電気火花や蛍光灯のスターターランプ(グローランプ)，変圧器はともにインダクタンスが関係している。このことから，インダクタンスを学習する意欲・関心をもっている。	自己誘導起電力の大きさ，および相互誘導起電力を表す式を，ともにファラデーの電磁誘導の法則の式から説明することができる。	コイルに電池，ネオン管，スイッチを配線した実験装置から，自己誘導のようすを観察することができる。	コイルに蓄えられるエネルギーを表す式が導き出される過程を説明することができる。	・ワークシートの記述内容の分析・実験プリント・定期テストによる理解度、定着度分析
		４　交流回路・交流回路，共振回路について理解させる。	4	コイルやコンデンサーに電圧を加えるとき，直流電圧の場合と交流電圧の場合とではそれらのふるまいが全く異なることに興味をもっている。	コイルやコンデンサーのそれぞれに交流電流が流れるときには，電力は sin関数的に変化し，そのため時間平均が0となることを理解している。	交流回路における電流，電圧の位相差をベクトル図の作図から，的確に整理することができる。	コイル・コンデンサーのリアクタンスについて理解している。また，共振回路がラジオやテレビの受信回路で使われている理由や電気振動におけるコイルの磁場とコンデンサーの電場の変化のようすを説明できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		５　電磁波・電磁波の発生のしくみについて理解させる。	1	単にテレビなどに使われる電波だけでなく，光，X線，γ線も電磁波の一種である。その電磁波はどのように発生するのか，またなぜ波であるといえるのか，に関心を示している。	磁場は変化すると電場を生じ，電場が変化すると磁場を生じる。このことが電磁波の発生と伝搬の鍵を握っていることが理解できている。	電磁波の波動としての性質を，観察を通してイメージできるようになる。	電磁波はその波長により，ふるまいが大きく異なるので，波長により分類することができること，高温の物体からはその温度により決められる波長分布の熱放射の電磁波が出ていることを知っている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		１　.電子・トムソンの実験とミリカンの実験とから，電子の比電荷，電荷，質量の各値がどのように得られたかを理解させる。	2	電子がどのようにして発見されたのか，また電子の電荷や質量はどのようにして測定されたのかに興味を示している。	陰極線の正体が電子線であったことの歴史的過程が理解できている。また，電子の比電荷の値を求めたJ.J.トムソンの実験のしくみが理解できている。	ミリカンの油滴実験は測定値である電気量をもとにどのようにして電気素量を決定したのかをデータから整理できる。	電子の比電荷の値と電気素量より，電子の質量が9.11×10^{-31}kgであることを算出することができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析

7	第５編　原子 第１章　電子と光	2　光の粒子性・光電効果を理解させる。	2	物質(粒子)でも，エネルギー(電磁波のような)でも，それらが非常に小さなもの(エネルギーの場合は「弱い」)になったとき，大きなものでは現れなかった別の性質やふるまいを示すようになることに興味・関心を示している。	光電効果の実験結果を，光量子説により説明できる。	はく検電器を用いて，光電効果の実験を行い，負に帯電した検電器からしか電子が飛び出さないことを確認できる。	ミクロなエネルギー量を表現するときに用いる「電子ボルト」という単位の意味を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		3　X線・X線の量子性，波動性をX線回折，コンプトン効果より理解させる。	3	病院の検査などで使われているX線とはどのようなものであるかに関心を示している。	X線の発生機構が理解できている。また，発生する最短波長を求める式を導き出す過程が説明できている。		X線回折におけるブラッグの条件について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		4　粒子の波動性・光の粒子性と対比しながら，電子に波動性があることを理解させる。	3	電子顕微鏡は電子が波動としてふるまう性質を応用したものである。この，一見すると相反する波動性と粒子性をあわせもつ二重性について，興味・関心を示している。	電子顕微鏡のしくみを説明できる。		質量をもった粒子がある速さで運動しているとき，この物質波のドブロイ波長を求めることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
9	第２章　原子と原子核	1　原子の構造とエネルギー準位 ・ボーアの水素原子模型について説明し，水素原子のエネルギー準位を理解させる。	4	プラスの電荷とマイナスの電荷からなる原子はどのようなしくみになっているのかに興味・関心を示している。	原子の構造が，正の電気をもった原子核のまわりを電子が回っているとする模型が正しいことを証明するためにラザフォードらが行った実験を理解できる。	さまざまなスペクトルを観察できる。	原子の発するスペクトルは，原子核のまわりを回る電子がとびとびのエネルギー準位をもつことから説明されることを理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		2　原子核・核力，同位体について理解させる。	3	原子核はどのようなものからできているのか，また核エネルギーはどのようにして発生するのだろうかということに関心がある。	極小の物体からなる核子どうしが堅く結びあっていられることについて，万有引力や静電気力では説明できない理由を言うことができる。		「原子・原子核」を表す記号から，原子核を構成する陽子・中性子の数を求めることができる。また，複数の同位体からなる元素の原子量を計算で求めることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		3　放射線とその性質 ・α崩壊とβ崩壊を行うと原子核の質量数や原子番号がどのように変化するかを理解させる。 ・半減期について理解させる。	3	さまざまな工業分野で利用されている放射線について，興味・関心を示している。	α線，β線，γ線の正体や，α崩壊，β崩壊のしくみが理解できている。	さいころを使った実験で半減期のシミュレーションをし，半減期の意味を理解できている。	放射能と放射線の測定単位の定義を理解している。また，放射線による影響と放射線の利用にはどのようなものがあるかがわかっている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		4　核反応と核エネルギー ・質量欠損，結合エネルギーの定義を正しく理解させる。	4	核エネルギーとは何か，どうしてあのような莫大な量のエネルギーが取り出せるのかに，興味・関心を示している。	核反応の前後で原子核の質量が減少すること，およびその質量差に相当するエネルギーが核エネルギーとして解放されることを定量的に説明できる。		核反応を式に表すことができる。結合エネルギーの定義を知っており，核子1個当たりの結合エネルギーの大きいほうが壊れにくいことを理解している。核分裂反応・核融合反応について，定性的，定量的に理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
		5　素粒子 ・自然の階層性について理解させる。	2	物質の最小単位は何か，また自然界にはどのような力が存在するのか，などに興味・関心を示している。	素粒子はそれらがはたらく力の種類により，どのような種類に分類されるのか，クォークとは何か，ゲージ粒子とは何か，また自然界に存在する4つの力とは何か，などについて説明することができる。		さまざまなハドロンがどのクォークで構成されているか調べ，それらの電気量の値をクォークの種類より算出することができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
化学	普通科（高入生）理系	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍・改訂化学		数研出版・フォトサイエンス化学図録 東京書籍・改訂ニューグローバル化学基礎＋化学	

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

「化学」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	４編 無機物質 ３章 典型金属元素の単体と化合物	１節　アルカリ金属とその化合物 ・アルカリ金属とその化合物の性質や反応について理解させる。	30	・アルカリ金属その化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心を持つ。	・水素以外の１族元素のアルカリ金属の単体及びその化合物の性質を考えることができる。		・アルカリ金属元素の製法，単体の性質，酸化物，水酸化物，炭酸ナトリウム，炭酸水素塩について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		２節　２族とその化合物 ・２族元素とその化合物の性質や反応について理解させる。		・２族元素とその化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心を持つ。	・２族元素の単体及び，その化合物の性質を考えることができる。	・アルカリ金属とアルカリ土類金属の単体や化合物の性質を調べることができる。	・２族元素の単体の製法，性質，酸化物，水酸化物，炭酸塩，硫酸塩，塩化物について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		３節　1,2族以外の典型元素とその化合物 ・１，２族以外の典型元素とその化合物について理解させる。		・１，２族以外の典型元素とその化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心を持つ。	・アルミニウム，亜鉛などの単体及び，化合物の性質を考えることができる。	・アルミニウムと亜鉛の酸や塩基に対する性質を調べることができる。	・アルミニウムとその化合物，錯イオン，ミョウバン，亜鉛とその化合物，水銀，スズ，鉛とその化合物について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
	４章 遷移元素の単体と化合物	１節　遷移元素とその化合物 ・遷移元素とその化合物について理解させる。		・遷移元素とその化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心を持つ。	・遷移元素の単体と化合物の性質や反応について考えることができる。	・鉄について，単体や化合物の性質を調べることができる。 ・硫酸銅(Ⅱ)五水和物の性質を調べることができる。また，銅(Ⅱ)イオンと銀イオンについて，その特有の反応や共通の性質を調べることができる。	・鉄とその化合物，銅とその化合物，銀とその化合物，金，クロム，マンガンについて理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		２節　金属イオンの分離・確認 ・金属イオンの分離について理解させる。			・金属陽イオンの特定の陰イオンとの反応や，分離と確認について考えることができる。		・金属イオンの分離方法と確認の方法について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析

「化学」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
5	５章 無機物質と人間生活	１節　金属 ・金属と人間生活の関わりについて理解させる。	30		・金属がその特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを考えることができる。	・鉄板を用いて鉄が錆びる様子を観察し，錆びる条件を調べることができる。	・金属の利用について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		２節　セラミック ・セラミックスと人間生活の関わりについて理解させる。 ・無機物質の活用について理解させる		・セラミックスの特徴とそれが私たちの生活にどのように利用されているかについて関心を持つ。 ・無機物質の特徴と、無機物質が私たちの生活にどのように利用されているか調べようとする態度が育っている。	・セラミックスの種類や性質を考えることができる。		・セラミックスについて理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
	５編 有機化合物 １章 有機化合物の特徴と構造	１節　有機化合物の特徴 ・有機化合物の特徴と分類について理解させる。		有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を調べようとする。	・有機化合物の特徴と分類を考えることができる。 ・元素分析により、組成式･分子式･構造式が決定されることについて考えることができる。		・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の分析について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		２節　有機化合物の構造式の決定 ・構造式を決定する手順について理解させる。 ・分離・精製と元素分析について理解させる。			・元素分析により，組成式･分子式･構造式が決定されることについて考えることができる。		有機化合物の分析について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
	２章 炭化水素	１節　飽和炭化水素 ・飽和炭化水素について理解させる。		・有機化合物の基本的な化合物である炭化水素のうち，鎖式炭化水素と脂環式炭化水素の構造と性質を調べようとする。	・脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連付けて考えることができる。		・アルカンの構造，同族体，アルカンの性質，置換反応，シクロアルカンと化学的性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		２節　不飽和炭化水素 ・不飽和炭化水素について理解させる。			・官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について考えることができる。	・飽和炭化水素と不飽和炭化水素の反応性の違いを，それぞれの化合物と臭素の反応から調べることができる。	・アルケンの構造，幾何異性体，アルケンの反応，シクロアルケン，アルキンの構造，アセチレンの反応について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
	３章 アルコールと関連化合物	１節　アルコールとエーテル ・アルコールとエーテルについて理解させる。		酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテルについて，構造や性質を調べようとする。	・アルコールの分類や性質とエーテルの性質を考えることができる。		・アルコールの構造と分類，性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		２節　アルデヒドとケトン ・アルデヒドとケトンについて理解させる。		アルデヒド，ケトンについて，構造や性質を調べようとする。	・アルデヒドの性質とケトンの性質について考えることができる。	・アルコールの反応とその酸化生成物の性質についてエタノール，ナトリウム，銅線を使って実験することができる。	・アルデヒドの生成，性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		３節　カルボン酸とエステル ４節　油脂とセッケン ・カルボン酸とエステルについて理解させる。		カルボン酸，油脂などについて，構造や性質を調べようとする。	・カルボン酸とエステルの構造や性質，光学異性体について考えることができる。	・酢酸とエタノールから酢酸エチルを合成し，その性質を調べることができる。	・カルボン酸の分類，性質，エステルの反応，油脂の分類と性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント

「化学」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
6	４章 芳香族化合物	１節　芳香族炭化水素 ・芳香族炭化水素について理解させる。	20	芳香族炭化水素をはじめ，芳香族化合物の性質を調べようとする。	・芳香族炭化水素の構造，性質や反応を考えることができる。	・ベンゼンの性質を調べ，また，ニトロ化によってニトロベンゼンを合成し，芳香族炭化水素の性質や反応を調べることができる。	・芳香族炭化水素について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		２節　酸素を含む芳香族化合物 ・酸素を含む芳香族化合物について理解させる。			・酸素を含む芳香族化合物(フェノール類、芳香族カルボン酸など)の構造，性質や反応について考えることができる。		・酸素を含む芳香族化合物の構造と分類，性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		３節　窒素を含む芳香族化合物 ・窒素を含む芳香族化合物について理解させる。			・窒素を含む芳香族化合物(芳香族アミンなど)を考えることができる。	・ニトロ基をアミノ基に変える方法を調べ，ニトロベンゼンからアニリンを合成することができる。また，その性質を調べることができる。 ・アミノ基の反応を利用し，アニリンからアゾ染料を合成し，合成した染料で木綿の布を染色することができる。	・窒素を含む芳香族化合物の構造と分類，性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		４節　芳香族化合物の分離 ・芳香族化合物の混合液から各成分を分離する方法を理解させる。						・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
	５章 有機化合物と人間生活	１節　食品 ２節　医薬品 ・医薬品と人間生活の関わりについて理解させる。		・食品，医薬品，染料･染色･洗剤などの有機化合物と生活の関わりを化学的な側面から調べようとする態度が育っている。	・食品，医薬品などの有機化合物と生活との関わりを化学的な面から考えることができる。	・頭痛薬のアセチルサリチル酸の含有量を中和滴定によって求めることができる。	・有機化合物である食品，医薬品について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		３節　染料 ４節　洗剤 ・染料や洗剤と人間生活の関わりについて理解させる。			・染料と洗剤について構造，性質について考えることができる。	・合成洗剤の代表的なアゾ染料をつくり，繊維による染まり具合を比べることができる。	・染料と洗剤について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント

「化学」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
7	６編 高分子化合物 １章 天然高分子化合物	１節　天然高分子化合物	20	・生活や生命に関わる高分子化合物の基礎的な分類，特徴を調べようとする。	・高分子化合物の分類，合成及び特徴を考えることができる。		・高分子化合物がわかる。	・ワークシートの記述内容の分析
		２節　単糖類・二糖類 ３節　多糖類 ・糖類の構造や性質について理解させる。		・デンプンやセルロース，タンパク質などの天然高分子化合物と，それを構成している化合物の構造や性質ににについて，化学的に調べようとする。	・糖の種類と構造，性質について考えることができる。	・グルコースや氷砂糖，デンプン溶液を用いて化学的性質を調べることができる。	・糖類についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
9		４節　アミノ酸 ５節　タンパク質 ・タンパク質の構造や性質について理解させる。			・タンパク質を構成する主なアミノ酸の種類や，構造，性質を考えることができる。また，タンパク質の高次構造や性質について考えることができる。	・タンパク質中の窒素や硫黄を検出し，タンパク質の構成元素を調べ，タンパク質の呈色反応や変性などの化学的性質を調べることができる。 ・デンプンが酵素によって分解されていく様子をヨウ素デンプン反応によって調べることができる。	・タンパク質についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		６節　核酸 ・核酸の構造や性質について理解させる。	20		・核酸の構造と複製の仕組みを考えることができる。	・二重らせん構造をとっているＤＮＡの模型を製作することができる。	・生物の細胞にある核酸がわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
	２章 合成高分子化合物	１節　合成高分子化合物 ２節　合成繊維 ・合成繊維の構造や性質および合成について理解させる。		・石油から人工的につくられた合成繊維やプラスチックについて調べようとする。	・合成高分子化合物の構造，性質及び合成について考えることができる。	・アジピン酸ジクロリドを用いてナイロン66を合成することができる。	・合成繊維がわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		３節　プラスチック ・合成樹脂（プラスチック）の構造や性質および合成について理解させる。			・高分子材料であるプラスチックの種類，性質を考えることができる。	・フェノールとホルマリンを用いて，熱硬化樹脂であるフェノール樹脂を合成できる。	・プラスチックについてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		４節　ゴム ・ゴムの構造や性質および合成について理解させる。			・ゴムの種類，構造，性質を考えることができる。		・ゴムについてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析
	３章 高分子化合物と人間生活	１節　プラスチック利用の拡大と環境問題 ・合成高分子と人間生活の関わりについて理解させる。	20	・生活を豊かにした高分子化合物の構造や性質などを調べようとする態度が育っている。	・生活に欠かせない衣料の材料である繊維の種類や特徴を考えることができる。		・衣料の原材料である繊維についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析
		・特別な機能を持つ合成高分子について理解させる。			・特別な機能をもった機能性高分子の種類や，その働きを考えることができる。	・ポリエチレンを熱分解し，エチレンを発生させることができる。	・高分子化合物の利用についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
化学	普通科（内進生）理系	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍・改訂化学		数研出版・フォトサイエンス化学図録 東京書籍・改訂ニューグローバル化学基礎＋化学	

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

「化学」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	４章 芳香族化合物	１節　芳香族炭化水素 ・芳香族炭化水素について理解させる。	17	芳香族炭化水素をはじめ，芳香族化合物の性質を調べようとする。	・芳香族炭化水素の構造，性質や反応を考えることができる。	・ベンゼンの性質を調べ，また，ニトロ化によってニトロベンゼンを合成し，芳香族炭化水素の性質や反応を調べることができる。	・芳香族炭化水素について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		２節　酸素を含む芳香族化合物 ・酸素を含む芳香族化合物について理解させる。			・酸素を含む芳香族化合物(フェノール類、芳香族カルボン酸など)の構造，性質や反応について考えることができる。		・酸素を含む芳香族化合物の構造と分類，性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		３節　窒素を含む芳香族化合物 ・窒素を含む芳香族化合物について理解させる。			・窒素を含む芳香族化合物(芳香族アミンなど)を考えることができる。	・ニトロ基をアミノ基に変える方法を調べ，ニトロベンゼンからアニリンを合成することができる。また，その性質を調べることができる。 ・アミノ基の反応を利用し，アニリンからアゾ染料を合成し，合成した染料で木綿の布を染色することができる。	・窒素を含む芳香族化合物の構造と分類，性質について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		４節　芳香族化合物の分離 ・芳香族化合物の混合液から各成分を分離する方法を理解させる。						・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
5	５章 有機化合物と人間生活	１節　食品 ２節　医薬品 ・医薬品と人間生活の関わりについて理解させる。		・食品，医薬品，染料･染色･洗剤などの有機化合物と生活の関わりを化学的な側面から調べようとする態度が育っている。	・食品，医薬品などの有機化合物と生活との関わりを化学的な面から考えることができる。	・頭痛薬のアセチルサリチル酸の含有量を中和滴定によって求めることができる。	・有機化合物である食品，医薬品について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		３節　染料 ４節　洗剤 ・染料や洗剤と人間生活の関わりについて理解させる。			・染料と洗剤について構造，性質について考えることができる。	・合成洗剤の代表的なアゾ染料をつくり，繊維による染まり具合を比べることができる。	・染料と洗剤について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント

「化学」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
6	６編 高分子化合物 １章 天然高分子化合物	１節　天然高分子化合物	18	・生活や生命に関わる高分子化合物の基礎的な分類，特徴を調べようとする。	・高分子化合物の分類，合成及び特徴を考えることができる。		・高分子化合物がわかる。	・ワークシートの記述内容の分析
		２節　単糖類・二糖類 ３節　多糖類 ・糖類の構造や性質について理解させる。		・デンプンやセルロース，タンパク質などの天然高分子化合物と，それを構成している化合物の構造や性質ににについて，化学的に調べようとする。	・糖の種類と構造，性質について考えることができる。	・グルコースや氷砂糖，デンプン溶液を用いて化学的性質を調べることができる。	・糖類についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		４節　アミノ酸 ５節　タンパク質 ・タンパク質の構造や性質について理解させる。			・タンパク質を構成する主なアミノ酸の種類や，構造，性質を考えることができる。また，タンパク質の高次構造や性質について考えることができる。	・タンパク質中の窒素や硫黄を検出し，タンパク質の構成元素を調べ，タンパク質の呈色反応や変性などの化学的性質を調べることができる。 ・デンプンが酵素によって分解されていく様子をヨウ素デンプン反応によって調べることができる。	・タンパク質についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
7		６節　核酸 ・核酸の構造や性質について理解させる。	18		・核酸の構造と複製の仕組みを考えることができる。	・二重らせん構造をとっているＤＮＡの模型を製作することができる。	・生物の細胞にある核酸がわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
	２章 合成高分子化合物	１節　合成高分子化合物 ２節　合成繊維 ・合成繊維の構造や性質および合成について理解させる。		・石油から人工的につくられた合成繊維やプラスチックについて調べようとする。	・合成高分子化合物の構造，性質及び合成について考えることができる。	・アジピン酸ジクロリドを用いてナイロン66を合成することができる。	・合成繊維がわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		３節　プラスチック ・合成樹脂（プラスチック）の構造や性質および合成について理解させる。			・高分子材料であるプラスチックの種類，性質を考えることができる。	・フェノールとホルマリンを用いて，熱硬化樹脂であるフェノール樹脂を合成できる。	・プラスチックについてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		４節　ゴム ・ゴムの構造や性質および合成について理解させる。			・ゴムの種類，構造，性質を考えることができる。		・ゴムについてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析
9	３章 高分子化合物と人間生活	１節　プラスチック利用の拡大と環境問題 ・合成高分子と人間生活の関わりについて理解させる。	17	・生活を豊かにした高分子化合物の構造や性質などを調べようとする態度が育っている。	・生活に欠かせない衣料の材料である繊維の種類や特徴を考えることができる。		・衣料の原材料である繊維についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析
		・特別な機能を持つ合成高分子について理解させる。			・特別な機能をもった機能性高分子の種類や，その働きを考えることができる。	・ポリエチレンを熱分解し，エチレンを発生させることができる。	・高分子化合物の利用についてわかる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
生物	普通科（高入生）理系	３年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍　「改訂　生物」（３０６）		実教出版　「サイエンスビュー　生物総合資料」 第一学習社　「セミナー生物基礎・生物」	

科目の目標	生物や生命現象について、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物学的に探究する考え方を身につけている。	生物や生物現象を分子レベルでとらえ、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を生物学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象について、広く概念や原理・法則を理解し、科学的な思考や判断を行える知識を身につけている。

「生物」（３年）　学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校・普通科理系

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	２章　動物の行動 ◎動物の行動をめぐる４つの「なぜ」 ◎行動の生得的要素とその後の修正 ◎神経系のはたらきと動物の行動	・行動とは，生物を含む環境に対して，生物が反応したりはたらきかけたりする活動である。動物の行動が起こるしくみについて学習する。	9	・鳥のさえずりをめぐる４つの研究に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・古典的条件付けに問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・カイコガのフェロモンに対する行動の実験を通して，生物を扱う基本操作を習得するとともに，調査の過程や結果を的確に記録，整理し，超音波による反響定位のしくみについて科学的に探究する技能を身に付けている。	・動物の生得的行動について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・神経系のはたらきと動物の行動について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
4･5	３章　植物の環境応答 ◎環境に応じた植物の一生と植物ホルモン ◎環境要因による発芽の調節 ◎環境要因による栄養成長の調節 ◎環境要因による気孔の開閉の調節 ◎環境要因による花芽形成の調節 ◎老化と落葉 ◎ストレスに対する応答	・移動能力をもたない植物には，周囲の環境の変化に応じた発生や成長などの調節がみられる。植物の一生をたどりながら，植物の環境応答とそのしくみについて学習する。	9	・ジベレリンの発見に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・幼葉鞘の光屈性に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・植物ホルモンの農業への利用に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・頂芽優勢に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・植物のホルモンと器官分化に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・生物時計と光周性の花芽形成に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・紅葉のしくみとその利点に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・ダイコンの春化の観察を通して，ペトリ皿やろ紙の取り扱いなどの基本操作を習得するとともに，観察の過程や結果を的確に記録，整理し，春化のしくみについて科学的に探究する技能を身に付けている。	・植物ホルモンによる発芽，栄養成長，気孔の開閉，花芽形成の調節について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・青色光によって気孔が開くしくみについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・花成ホルモンの同定への道について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・植物のストレス応答について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価 考査問題による理解度・定着度分析
5	５編　生態と環境 １章　生物の多様性と生態学 ◎生物の多様性の現状	・生態学とは，どのような学問だろうか，生態学によってどのようなことが明らかになるかについて学習する。	4	・生物の多様性の現状に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・生態系サービスと生物の多様性に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。		・生物の多様性について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている	内容演習による取組評価
5	2章　個体群と生物群集 ◎個体群と環境 ◎個体群の構造と成長 ◎個体間の相互作用 ◎種間の相互作用 ◎生物群集の成り立ちと多種の共存	・自然界の生物は，同じ種や異なる種とどのような関係をもっているのだろうか。多くの種がどのように共存しているかについて学習する。	8	・個体群と環境適応に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・相利共生と寄生，競争に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・生物群集の多種の共存のしくみに関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・個体群の大きさの推定に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・春植物の競争回避に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・資源利用曲線と共存に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・ウキクサの増殖の観察を通して，デジタルカメラの取り扱いなどの基本操作を習得するとともに，実験の過程や結果を的確に記録，整理し，個体群の成長について科学的に探究する技能を身に付けている。 ・河川流量の変化が及ぼす藻類の多様性の観察実験を通して，デジタルカメラや光学顕微鏡の取り扱いなどの基本操作を習得するとともに，実験の過程や結果を的確に記録，整理し，攪乱の影響について科学的に探究する技能を身に付けている。	・個体群の構造と成長について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・個体間の相互作用について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・種間の相互作用について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・攪乱がもたらす共存について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価

6	３章　生態系の物質生産とエネルギーの流れ ◎食物網と物質生産 ◎生態系の構造とエネルギーの流れ	・生態系のなかでの有機物の生産やエネルギーの流れに対して，生物がどのようにかかわっているかについて学習する。	6	・深海底の生態系に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・森林による二酸化炭素の吸収に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・生産構造図をつくる調査活動を通して，照度計などの基本操作を習得するとともに，調査の過程や結果を的確に記録，整理し，照度と乾燥質量の相関関係について科学的に探究する技能を身に付けている。	・食物網について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・湖沼における富栄養化について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・生態ピラミッドについて， 基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
6	４章　生態系と生物多様性 ◎生物多様性とその意味 ◎生物多様性を減少させる要因 ◎生物多様性の保全と復元 探究　外来生物についての法律と外来生物の観察	・生物多様性とは何だろうか。生態系のなかでの人間（ヒト）とほかの生物とのかかわりについて学習する。	6	・イネの遺伝的多様性と病原菌への抵抗性に関心や 探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・生物多様性を脅かす４つの要因に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・複数の外来生物の問題に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・生態系と生物の多様性に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・アリー効果に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・生物の絶滅の模擬実験を通して，絶滅がどれくらいの確率で起こるかを習得するとともに，観察の過程や結果を的確に記録，整理し，生物の絶滅について科学的に探究する技能を身に付けている。	・生物多様性の意味について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・生物多様性を減少させる要因について，基本的な概 念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・生物多様性の保全と復元について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価 考査問題による理解度・定着度分析
7	６編　生物の進化と系統 １章　生命の起源と生物の変遷 ◎生命の起源 ◎地球環境の変化と真核生物の誕生 ◎生物の変遷 ◎人類の変遷	・現在，地球上でみられる多種多様な生物は，どのようにして地球上に誕生し，現在までどのような変遷をたどってきたかにつて学習する。	8	・生命の起源に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・細胞内共生説の根拠に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・大量絶滅に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・大陸移動と生物に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・脳容積の測定を通して，メスシリンダー，桿状計などの基本操作を習得するとともに，実験の過程や結果を的確に記録，整理し，脳容積と進化の関係性について科学的に探究する技能を身に付けている。	・生命の起源と生物の変遷について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・鳥類と恐竜の関係について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・人類の変遷について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
9	２章　進化のしくみ ◎進化 ◎生物の個体間の変異とその起源 ◎遺伝子頻度とその変化のしくみ ◎種分化	・進化とは，一般に，生物の形質が世代を経るにつれて変化していくことである。進化はどのようなしくみでおこるかについて学習する。	10	・ダーウィンと木村資生に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・遺伝子頻度の変化のしくみに問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・遺伝子浮動による遺伝子頻度変化のシミュレーションを通して，コンピュータなどの基本操作を習得するとともに，調査の過程や結果を的確に記録，整理し，遺伝子頻度の変化について科学的に探究する技能を身に付けている。	・染色体レベルで起こる突然変異について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・種分化のしくみについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
9	３章　生物の系統 ◎生物の系統 ◎生物の世界の３ドメイン ◎原生生物 ◎植物 ◎菌類 ◎動物 探究　自然選択による進化のしくみ 探究　クジラはどのほ乳類に最も近いか？	・生物が進化してきた道筋を系統という。さまざまな生物にはどのような系統関係があるのかについて学習する。	10	・生物の名前と分類名に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・分子系統樹のつくり方（最節約法）に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・シダ植物の胞子体観察を通して，光学顕微鏡などの基本操作を習得するとともに，観察の過程や結果を的確に記録，整理し，胞子と配偶体の形態について科学的に探究する技能を身に付けている。	・生物の世界の3ドメインについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・熱水噴出孔と古細菌について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・真核生物の系統と藻類について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価 考査問題による理解度・定着度分析

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
生物	普通科（内進生）理系	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍　「改訂　生物」（３０６）		実教出版　「サイエンスビュー　生物総合資料」 第一学習社　「セミナー生物基礎・生物」	

科目の目標	生物や生命現象について、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物学的に探究する考え方を身につけている。	生物や生物現象を分子レベルでとらえ、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を生物学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象について、広く概念や原理・法則を理解し、科学的な思考や判断を行える知識を身につけている。

「生物」（３年）　学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校・普通科理系

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	３章　植物の環境応答 ◎環境に応じた植物の一生と植物ホルモン ◎環境要因による発芽の調節 ◎環境要因による栄養成長の調節 ◎環境要因による気孔の開閉の調節 ◎環境要因による花芽形成の調節 ◎老化と落葉 ◎ストレスに対する応答	・移動能力をもたない植物には，周囲の環境の変化に応じた発生や成長などの調節がみられる。植物の一生をたどりながら，植物の環境応答とそのしくみについて学習する。	9	・ジベレリンの発見に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・幼葉鞘の光屈性に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・植物ホルモンの農業への利用に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・頂芽優勢に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・植物のホルモンと器官分化に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・生物時計と光周性の花芽形成に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・紅葉のしくみとその利点に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・ダイコンの春化の観察を通して，ペトリ皿やろ紙の取り扱いなどの基本操作を習得するとともに，観察の過程や結果を的確に記録，整理し，春化のしくみについて科学的に探究する技能を身に付けている。	・植物ホルモンによる発芽，栄養成長，気孔の開閉，花芽形成の調節について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・青色光によって気孔が開くしくみについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・花成ホルモンの同定への道について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・植物のストレス応答について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価 考査問題による理解度・定着度分析
4･5	５編　生態と環境 １章　生物の多様性と生態学 ◎生物の多様性の現状	・生態学とは，どのような学問だろうか，生態学によってどのようなことが明らかになるかについて学習する。	4	・生物の多様性の現状に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・生態系サービスと生物の多様性に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。		・生物の多様性について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている	内容演習による取組評価
5･6	2章　個体群と生物群集 ◎個体群と環境 ◎個体群の構造と成長 ◎個体間の相互作用 ◎種間の相互作用 ◎生物群集の成り立ちと多種の共存	・自然界の生物は，同じ種や異なる種とどのような関係をもっているのだろうか。多くの種がどのように共存しているかについて学習する。	10	・個体群と環境適応に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・相利共生と寄生，競争に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・生物群集の多種の共存のしくみに関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・個体群の大きさの推定に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・春植物の競争回避に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・資源利用曲線と共存に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・ウキクサの増殖の観察を通して，デジタルカメラの取り扱いなどの基本操作を習得するとともに，実験の過程や結果を的確に記録，整理し，個体群の成長について科学的に探究する技能を身に付けている。 ・河川流量の変化が及ぼす藻類の多様性の観察実験を通して，デジタルカメラや光学顕微鏡の取り扱いなどの基本操作を習得するとともに，実験の過程や結果を的確に記録，整理し，攪乱の影響について科学的に探究する技能を身に付けている。	・個体群の構造と成長について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・個体間の相互作用について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・種間の相互作用について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・攪乱がもたらす共存について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価

6	３章　生態系の物質生産とエネルギーの流れ ◎食物網と物質生産 ◎生態系の構造とエネルギーの流れ	・生態系のなかでの有機物の生産やエネルギーの流れに対して，生物がどのようにかかわっているかについて学習する。	7	・深海底の生態系に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・森林による二酸化炭素の吸収に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・生産構造図をつくる調査活動を通して，照度計などの基本操作を習得するとともに，調査の過程や結果を的確に記録，整理し，照度と乾燥質量の相関関係について科学的に探究する技能を身に付けている。	・食物網について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・湖沼における富栄養化について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・生態ピラミッドについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
6･7	４章　生態系と生物多様性 ◎生物多様性とその意味 ◎生物多様性を減少させる要因 ◎生物多様性の保全と復元 探究　外来生物についての法律と外来生物の観察	・生物多様性とは何だろうか。生態系のなかでの人間（ヒト）とほかの生物とのかかわりについて学習する。	10	・イネの遺伝的多様性と病原菌への抵抗性に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・生物多様性を脅かす４つの要因に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・複数の外来生物の問題に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付	・生態系と生物の多様性に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・アリー効果に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・生物の絶滅の模擬実験を通して，絶滅がどれくらいの確率で起こるかを習得するとともに，観察の過程や結果を的確に記録，整理し，生物の絶滅について科学的に探究する技能を身に付けている。	・生物多様性の意味について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・生物多様性を減少させる要因について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・生物多様性の保全と復元について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価 考査問題による理解度・定着度分析
7	６編　生物の進化と系統 １章　生命の起源と生物の変遷 ◎生命の起源 ◎地球環境の変化と真核生物の誕生 ◎生物の変遷 ◎人類の変遷	・現在，地球上でみられる多種多様な生物は，どのようにして地球上に誕生し，現在までどのような変遷をたどってきたかにつて学習する。	10	・生命の起源に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・細胞内共生説の根拠に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・大量絶滅に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・大陸移動と生物に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・脳容積の測定を通して，メスシリンダー，桿状計などの基本操作を習得するとともに，実験の過程や結果を的確に記録，整理し，脳容積と進化の関係性について科学的に探究する技能を身に付けている。	・生命の起源と生物の変遷について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・鳥類と恐竜の関係について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・人類の変遷について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
7･9	２章　進化のしくみ ◎進化 ◎生物の個体間の変異とその起源 ◎遺伝子頻度とその変化のしくみ ◎種分化	・進化とは，一般に，生物の形質が世代を経るにつれて変化していくことである。進化はどのようなしくみでおこるかについて学習する。	10	・ダーウィンと木村資生に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・遺伝子頻度の変化のしくみに問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・遺伝子浮動による遺伝子頻度変化のシミュレーションを通して，コンピュータなどの基本操作を習得するとともに，調査の過程や結果を的確に記録，整理し，遺伝子頻度の変化について科学的に探究する技能を身に付けている。	・染色体レベルで起こる突然変異について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・種分化のしくみについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
9	３章　生物の系統 ◎生物の系統 ◎生物の世界の３ドメイン ◎原生生物 ◎植物 ◎菌類 ◎動物 探究　自然選択による進化のしくみ 探究　クジラはどのほ乳類に最も近いか？	・生物が進化してきた道筋を系統という。さまざまな生物にはどのような系統関係があるのかについて学習する。	10	・生物の名前と分類名に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	・分子系統樹のつくり方（最節約法）に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・シダ植物の胞子体観察を通して，光学顕微鏡などの基本操作を習得するとともに，観察の過程や結果を的確に記録，整理し，胞子と配偶体の形態について科学的に探究する技能を身に付けている。	・生物の世界の3ドメインについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・熱水噴出孔と古細菌について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・真核生物の系統と藻類について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	内容演習による取組評価 考査問題による理解度・定着度分析

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習物理基礎	普通科	３年（後期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校　普通科

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当時間	具体の評価規準 関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	評価方法
	第１編 運動とエネルギー 第１章 運動の表し方	総合的な問題演習	1　速度 ・速さと速度，平均の速さと瞬間の速さ，相対速度について理解させる。 【発展】平面上の速度、相対速度を理解させる。		２物体の運動を相対速度の関係を用いて説明しようとし，意欲的に探求しようとする。	速度の意味・考え方，またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを理解し，表現することができる。	物体の運動を測定し，グラフで表すことができる。	グラフを見て物体の運動の様子を理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
			2　加速度 ・直線運動における加速度の定義を理解させる。				加速度の概念を理解し，時間と距離・速度の関係をグラフや式表すことができる。	等加速度直線運動の３つの式の扱いに習熟し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
			3　落体の運動 ・落体の運動は，加速度の大きさｇの等加速度直線運動であること，放物運動は，水平方向の等速直線運動と，鉛直方向の等加速度直線運動とに分解して扱えることを理解させる。 【発展】水平投射・斜方投射の式を理解させる。		落体の運動を学ぶ意義を感じ，意欲的に探求しようとする。	放物運動を２方向の運動に分解して式の運用ができる。		自由落下，鉛直投射を等加速度直線運動として捉え，理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
	第２章 運動の法則		1　力とそのはたらき ・力が運動や変形の原因となること，ベクトル量であることを理解させる。		力のはたらき・性質と運動との関係について，日常に見られる様々な運動等を通して関心を持ち，科学的に探究しようとする。	日常に見られる運動を通して物体にはたらく力を見いだした自らの考えを的確に表現できる。			・ワークシート等 ・後期中間考査①
			2　力のつりあい ・重力･垂直抗力･摩擦力･弾性力など様々な力について理解 ・力の合成・分解，つり合い，作用・反作用の法則について理解する。			重力･垂直抗力･摩擦力･弾性力など様々な力について理解している。	力の合成・分解，つり合い，作用・反作用の法則について作図で示すことができる。	つり合いの２力と作用・反作用を正しく区別できるように理解している。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
10			3　運動の法則 ・運動の３法則を学習し運動方程式によって力と加速度の		「物体の運動状態は，受ける力とどのような関係にあるか」の発問に興味・関心を示している。	慣性の法則，運動方程式が理解でき，問題解決にあたって式の運用ができる。		重力による加速度をもつ落下運動について正しく理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査① ・実験レポート

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校　普通科

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
			4　摩擦を受ける運動 ・静止摩擦と動摩擦の大きさや向きについて学習し，動摩擦を受ける物体の運動を運動方程式で説明できるようにさせる。		静止摩擦と動摩擦の違いに注目し，関心を寄せ，意欲的に探求しようとする。		摩擦力の実験から摩擦係数を確認し，的確に整理している。	摩擦力について理解している。それがはたらくときの物体の運動について正しく理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査① ・実験レポート
			5　液体や気体から受ける力 ・流体からの受ける力（圧力･浮力･抵抗力）について学習し，その大きさや向きを説明できるようにさせる。		水中や空気中で圧力があることに関心を寄せ，意欲的に探求しようとする。		空気抵抗を受けながら落下する物体について，その運動の特徴を解析し，的確に整理している。		・ワークシート等 ・後期中間考査①
	第３章 仕事と力学的エネルギー		1　仕事 ・仕事の定義，仕事の原理，仕事率について理解させる。		エネルギー概念と仕事について関心を持ち，意欲的に探究しようとする。	仕事の定義，仕事の原理について考察し，考えを表現している。		仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を理解し，知識を身につけ，活用できる。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
			2　運動エネルギー ・運動エネルギーの式を理解し，運動エネルギーと仕事の関係を式を使って説明できるようにさせる。		運動している物体について速度とエネルギー量の関係を身近な現象とを結びつけて意欲的に考えようとしている。	運動エネルギーの式を理解し，運動エネルギーと仕事の関係について式の運用が正しくできる。		「運動エネルギーの変化＝された仕事」の右辺の仕事は，仕事をする際の力の種類（保存力か非保存力か）を問わないことを理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
			3　位置エネルギー ・高い所にある物体は他の物体に対して仕事をすることから，重力による位置エネルギーをもっていることを理解させる。		位置エネルギーは，運動エネルギーのように動きがあり目立つものではないが，仕事をする能力を「秘めて」いることに興味をもつことができる。	弾性力による位置エネルギー，重力による位置エネルギー，それぞれについて考察し，考えを表現している。			・ワークシート等 ・後期中間考査①
			4　力学的エネルギー ・重力と弾性力による位置エネルギー，およびその仕事との関係を理解し，力学的エネルギーの保存について，正しく式を使って説明できるようにさせる。		力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り，その法則をいろいろな運動を分析するために意欲的に活用しようとする。		力学的エネルギー保存則を実験から確認し，的確に整理している。	保存力と力学的エネルギー保存則の関係について理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校　普通科

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
	第２編 熱		1　熱と熱量	35	熱・温度・エネルギーの関係について関心を持ち，意欲的に探究している。	温度と熱運動，熱の移動とエネルギーについて考えを表すことができる。		温度，熱運動，熱量，比熱，熱容量などが正しく理解し，知識を身につけている	・ワークシート等
	第１章		・温度と熱運動，熱の移動とエネルギーと関連づけて比熱，熱容量を理解し，熱量の保存を説明できるようにさせる。						・後期中間考査②
	熱とエネルギー								
			2　熱と物質の状態		同じ物質でも温度を変えると，固体，液体，気体になる。なぜこのようなことが起こるのかに興味・関心を示している。	物質の三態を熱運動の観点からモデル化して考えを表現できる。		教科書にある融解熱・蒸発熱の表から水の潜熱の大きさに気づき，身近な現象に置き換えて理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等
			・物質の三態や熱膨張を熱運動で捉えて理解させる。						・後期中間考査②
			3　熱と仕事			熱力学第一法則について式の運用が正しくできる。		力学的仕事と内部エネルギーの変化から，熱がエネルギーの一形態であることを理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等
			・力学的仕事と内部エネルギーの変化から，熱がエネルギーの一形態であることを説明できるようにさせる。						・後期中間考査②
			・熱力学第一法則を理解させる。						
			4　不可逆変化と熱機関		熱機関が，われわれの生活の中でどのように活用されているか，関心をもっている。			熱機関と熱機関の効率について理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等
			・熱現象における不可逆変化と熱機関の熱効率を理解する。						・後期中間考査②
	第３編		1　波と媒質の運動		波とは何か，媒質と波の伝播ついて興味を持ち，調べようとする。	波形の移動における周波数や位相について説明することができ，媒質の振動を関連づけて考え，表現することができる。		縦波と横波の違いを理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等
	第１章　波の性質		・波源の振動の伝播が波動であることを理解させる。						・後期中間考査②
			・波を表す要素を説明できるようにさせる。						
			・縦波と横波を説明できるようにさせる。						
			2　重ね合わせの原理			2つの波の独立性や重ね合わせの原理と定常波を関連づけて考え，表現することができる。	波動に由来する現象を観察・実験を通して分析し，論理的に考察観察し，的確に整理している。	波の性質と媒質の端の違いによる反射波の性質を理解している。	・ワークシート等
			・波の重ね合わせの現象・独立性・干渉の現象を観察し，その性質を理解させる。						・後期中間考査②
			・波の反射の種類と定常波を理解させる。						
11			【発展】波の干渉、屈折、反射、回折を理解させる。						

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校　普通科

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
	第２章　音		１　音の性質 ・音の伝わり方・音の３要素・うなりといった，波の性質について理解させる。		弦楽器や管楽器での音の発生の原理について関心を持ち，意欲的に探求しようとする。			音が疎密波であることについて理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査②
			２　発音体の振動と共振・共鳴 ・弦および気柱の振動条件について学び，定常波の発生や共鳴，共振について理解させる。			弦や気柱に生じる定常波の固有振動数を表す式について式の運用が正しくできる。	弦や気柱の共鳴実験を観察し，的確に整理している。	弦の振動と気柱の振動などを通して，共鳴・共振のような現象が起こる原理を理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査② ・実験レポート
	第４編　電気 第１章 物質と電気抵抗		１　電気の性質 ・静電気の発生，帯電の仕組み，静電誘導，誘電分極について理解させる。 【発展】静電誘導を理解させる。		電気に関わる法則に興味をもち，静電気の原理や，導体・絶縁体・半導体のそれぞれの性質ついて意欲的に探求しようとする。	帯電の仕組みについて考え，表現することができる。		物体の帯電は，自由電子のやりとりによって生じていることが理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査② ・実験レポート
			２　電流と電気抵抗 ・オームの法則，直列・並列接続回路の特徴を理解させる。			オームの法則，直列・並列接続回路の特徴を理解し，式の運用が正しくできる。	電気回路を水流モデル図として作図することができる。		・ワークシート等 ・後期中間考査②
			３　電気とエネルギー ・ジュール熱発生の仕組みを理解させる。 ・電力や電力量を説明できるようにさせる。		電気エネルギーと力学的エネルギーの関連について関心を持ち，意欲的に探求しようとする。			電力量と電力の意味（およびその公式）を理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査②
	第２章 交流と電磁波		１　交流 ・交流の発生，交流発電機や変圧器のしくみとはたらきを		家庭用コンセントからくる電気の交流はどのようにして発生するのかということに関心を持ち，意欲的に探求しようとする。	発電所でつくられ利用されている交流の概念と仕組みを考え，表現できる。		交流を遠方の利用者に送るときに必要な「変圧器」について理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査②
			２　電磁波 ・電磁波の性質や種類，その利用法について理解させる。			電磁波の種類と性質を確認し，電界と磁界の相互の変動が電磁波を伝えることについて考え，表現することができる。		電磁波が日常生活の様々な分野で応用されている例を示して理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査②
12 1	まとめ		・より難度の高い総合問題を演習する。						・後期中間考査②

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習化学基礎	普通科	３年（後期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 そして、これまでに履修した学習内容を復習し、今日的課題を含んだ発展的な学習内容を含む、科学的な思考力を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら化学的な事物・現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「演習化学基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校　普通科　文系・理系

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	１章 物質の構成 １節 物質の探究	総合的な問題演習	１　物質の種類と性質 ・「序　化学と人間生活」にふれる。 ・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることを理解する。	35	・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることに興味をもつ。	・純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。	・混合物をろ過や蒸留、再結晶、クロマトグラフィーなどにより純物質に分けることができる。	・混合物を分離する操作に、ろ過、蒸留、分留、昇華、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどをあげられる。	ワークシート （小テスト） 後期中間考査①
			２　物質と元素 ・原子と元素の意味や元素という概念を理解する。		・元素の種類やその検出法などについて興味や関心を高める。	・元素の種類やその検出法などについて考察し、元素どうしを比較する。		・原子と元素の考え方を理解する。 ・代表的な成分元素の検出法を理解している。	
			３　物質の三態と熱運動 ・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのか理解する。		・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのかに興味をもつ。	・物質を加熱したり冷却したときの温度変化をグラフに表すことができる。		・絶対温度とセルシウス温度の関係を理解している。	
	２節 物質の構成粒子		１　原子の構造 ・原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づく。同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることを理解する。		・原子は粒子から構成されていることに気づき、同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。	・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。		・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。	
			２　イオンの生成 ・陽イオン・陰イオンの生成のしくみについて理解する。		・物質がイオンの粒子からも成り立つ場合があることに興味をもつ。	・イオンの生成を電子配置と関連づけて考え、説明することができる。	・「ナトリウムの反応」において、元素の性質と電子配置について考えることができる。	・物質が原子、分子、イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解し、それらの基本的な概念や知識を身につけている。	
			３　周期表 ・周期表上の元素の配列のしかたについて理解する。		・周期表上の元素の配列のしかたについて興味をもつ。	・周期表の中に周期律が見いだせることや、周期律は価電子の数の周期的な変化によることなどに気づく。		・元素の、典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布、および同族元素について理解している。	
	２章 物質と化学結合 １節 イオン結合		１　イオン結合 ・原子とイオンの違いについて理解する。		・化学結合の種類や特徴について興味や関心を高める。	・化学結合が生じる理由について考察し、物質の性質と関連づける。		・イオン化エネルギーの概念と周期表上での傾向を説明できる。	
			２　イオン結晶 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質について理解する。		・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。	・イオンからなる物質は分子をつくらないため、分子式ではなく組成式で表すことに気づく。	・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。	・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式の組み立て方を理解している。	
	２節 共有結合と分子間力		１　共有結合と分子間力 ・分子結晶について、構造や性質を理解する。		・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。	・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。		・極性という、電気陰性度の違いによる電荷のかたよりを分子の形から理解している。	
			２　共有結合からなる物質 ・共有結合の結晶について、構造や性質を理解する。		・分子からなる物質の性質に興味をもつ。	・価標を考えることによって、分子の構造を予想することができる。	・分子の中の原子どうしの結合を、模型などを用いて表すことができる。	・さまざまな分子を電子式、構造式で表し、その構造を考えることができる。	
	３節 金属結合		１　金属結合 ・金属特有の性質を理解する。		・身のまわりの金属の性質に興味をもつ。	・金属特有の性質は、金属結合が自由電子によるものであることが原因であることに気づく。		・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように、組成式で表されることを理解している。	
			２　金属 ・金属の結晶の特徴を理解する。		・金属に共通する性質について、興味をもつ。	・金属の特徴についてモデルをもとに考察する。		・金属の特徴を３点挙げることができる。	
	４節 化学結合と物質		１　結晶の分類 ・それぞれの化学結合によってできた結晶について、その性質や構成粒子などを比較し、理解する。		・それぞれの化学結合について、特徴を理解し、その結晶の差異について興味や関心を高める。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を説明し、それがどのような理由によるものが推論することができる。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を調べることができる。	・それぞれの結合から成る物質の特徴と性質を理解している。	
			２　化学結合と身のまわりの物質 ・それぞれの化学結合でできた代表的な物質について理解する。		・身近な物質が、それぞれの結晶のからできていることに気づく。	・身近な物質が、それぞれの結晶の性質を踏まえて利用されていることについて気づく。	・身近な気体の性質や利用用途などについて調べることができる。	・身近な物質がもつ性質やその利用例などを理解している。	
	３章 物質の変化 １節 物質量と化学反応式		１　原子量と分子量・式量 ・非常に小さい粒子である原子・分子・イオンの取り扱い方について理解する。		・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子１個がはいかに小さなものであるかを実感する。	・同位体が存在する場合、平均原子量を求めることができる。 ・質量そのものではなく、基準に対する相対質量で表すことを理解している。	・基本的な化学式などを書く技能を習得し、的確に表現できる。	・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子の質量を考えることができる。	

「演習化学基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校　普通科　文系・理系

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
			2　物質量 ・原子の数え方について理解する。		・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。	・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子数、質量、物質量に関する計算ができる。	・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質量で表せる。	・気体の場合の1molの体積は共通であることを理解する。	
			3　溶液の濃度 ・溶解という現象を理解させるとともに、溶液の濃度の表し方について理解する。		・溶解という現象に興味をもつ。	・計算により濃度を求めることができる。	・あるモル濃度の水溶液をメスフラスコなどを使用して調製することができる。	・質量パーセント濃度、モル濃度の意味を理解している。	
			4　化学反応式 ・多くの化学変化は化学反応式であらわされることを理解させ、化学反応式をもとに量的な関係をつかむ。 ・基本法則の発見が化学の進歩に果たした役割を理解する。		・化学反応の表し方について興味関心を高める。 ・基本法則が発見された時代背景に興味をもつ。	・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。 ・基本法則についてモデルを用いて説明することができる。	・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。	・化学反応における、物質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・質量保存の法則、定比例の法則、ドルトンの原子説、気体反応の法則、アボガドロの分子説を理解している。	
11	2節 酸と塩基		1　酸と塩基 ・酸とは何か、塩基とは何かについて理解する。		・酸・塩基について興味や関心を高める。	・酸・塩基の例からその共通性ついて考察し、他の物質と比較する。また、その量的な関係について考察する。		・酸・塩基の性質と中和反応の意味、量的な関係を理解している。	
			2　水素イオン濃度とｐＨ ・水素イオン濃度の表し方について理解する。		・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。	・ｐＨの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・ある水素イオン濃度における水酸化物イオン濃度を求められる。	・身のまわりの物質の水溶液のｐＨを知る方法を身につけている。	・酸性・塩基性の程度とｐＨの関係を理解し、ｐＨの指標の便利さと実用性を理解している。	
			3　中和反応と塩 ・中和反応の定義と表し方について理解する。 ・塩の生成と種類、性質について理解する。 ・中和の量的関係とｐＨの変化について理解する。		・中和反応は本質的にはH^+とOH^-の反応であることに気づく。 ・同一の酸と塩基から生成する塩でも、複数の種類の塩が生じることがあることに気づく。 ・市販の食酢の酢酸濃度の求め方に興味を持つ。	・酸・塩基の価数は中和する際の量的関係に重要な要素を占めることに気づく。 ・塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。 ・測定結果をもとに、滴定曲線を表すことができる。	・中和滴定において、メスフラスコ、ビュレット、ホールピペットなどの実験器具の取り扱いができると同時に、酸･塩基の量的関係から未知の濃度を実験で求める技能を身につけている。 ・塩の水溶液をつくり、ｐＨメーターなどによりｐＨを測定することができる。	・中和の量的関係を数値計算により求めることができる。 ・滴定曲線におけるｐＨ変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 ・酸性塩、塩基性塩、正塩などの分類があることを理解している。 ・実験器具の使い方を理解している。	
	3節 酸化還元反応		1　酸化と還元 ・酸化と還元の定義を理解する。		・酸化還元反応の原理や現象などについて、興味関心を高める。	・酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことに気づく。 ・酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。	・代表的な酸化還元反応を観察し、この反応を酸化還元反応として考えることができる。	・電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。	ワークシート （小テスト） 後期中間考査②
			2　酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤のはたらき方について理解する。		・酸化還元の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させられるようになる。	・酸化還元の化学反応式を酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを読み取ることができる。	・酸化還元滴定の実験により濃度未知の酸化剤や還元剤の濃度を求めることができるとともに、酸化還元反応の進行を色の変化など、実験を通して視覚的に判断できるようになる。	・酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。	
			3　酸化還元反応の起こりやすさ ・金属のイオン化傾向について理解する。		・金属の反応性はイオン化傾向と関連があることに、興味や関心を高める。	・金属の反応性を、イオン化傾向と関連させて考察できるようになる。		・金属の反応性は、イオン化傾向と関連が深いことを理解している。	
			4　身のまわりの酸化還元反応 ・電池、電気分解の原理について理解する。		・電池、電気分解の原理について興味や関心を高める。	・電池、電気分解で起こる反応の原理などについて考察できるようになる。	・簡単な電池をつくることができる。	・基本的な電池の構造と反応を理解する。 ・電気分解の原理を理解する。	
12 1	まとめ		・より難度の高い総合問題を演習する。						

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習生物基礎	普通科	３年（後期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的な探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，生物の共通性と多様性を意識するなど，科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの課程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。

「演習生物基礎」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	生物基礎全範囲	標準問題演習	20	主体的に問題演習に取り組む。	原理・原則に基づいて、探求的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験の内容を理解し、原理・原則を確かめることができる。	各分野に対する原理・原則を理解することができる。 正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
11								
12		共通テスト対応入試問題演習	10					
1								
2								

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習物理	普通科理系	3年（類型c選択者）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版・改訂物理		2020物理重要問題集 東京書籍・改訂ニューグローバル物理基礎＋物理	

科目の目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち，主体的に探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め，知識を身につけている。

「演習物理」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	物理，物理基礎全範囲	標準問題演習	20	主体的に問題演習に取り組む。	原理・原則に基づいて、探求的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験の内容を理解し、原理・原則を確かめることができる。	各分野に対する原理・原則を理解することができる。 正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
11		応用問題演習	5					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	50					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習物理＋	普通科理系	3年（類型c選択者）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版・改訂物理		2020物理重要問題集 東京書籍・改訂ニューグローバル物理基礎＋物理	

科目の目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち，主体的に探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め，知識を身につけている。

「演習物理＋」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	物理，物理基礎全範囲	標準問題演習	12	主体的に問題演習に取り組む。	原理・原則に基づいて、探求的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験の内容を理解し、原理・原則を確かめることができる。	各分野に対する原理・原則を理解することができる。 正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
		応用問題演習	12					
11		大学入試問題演習プリント	16					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	30					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習物理＋＋	普通科理系	3年（類型c選択者）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版・改訂物理		2020物理重要問題集 東京書籍・改訂ニューグローバル物理基礎＋物理	

科目の目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち，主体的に探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め，知識を身につけている。

「演習物理＋＋」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	物理，物理基礎全範囲	標準問題演習	10	主体的に問題演習に取り組む。	原理・原則に基づいて、探求的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験の内容を理解し、原理・原則を確かめることができる。	各分野に対する原理・原則を理解することができる。 正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
		応用問題演習	10					
11		難関大学入試問題演習プリント	30					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	20					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習化学	普通科理系	3年（類型c選択者）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版　2021化学重要問題集		東京書籍・改訂化学 数研出版・フォトサイエンス化学図録 第一学習社・改訂セミナー化学基礎＋化学	

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

「演習化学」　指導と評価の年間計画（教師用）

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	化学，化学基礎全範囲	標準問題演習	20	主体的に問題演習に取り組む。	探究的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験を仮定した問題の意味を理解し，解答することができる。	正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
11		応用問題演習	5					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	50					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習化学＋	普通科理系	3年（類型b選択者）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版　2021化学重要問題集		東京書籍・改訂化学 数研出版・フォトサイエンス化学図録 第一学習社・改訂セミナー化学基礎＋化学	

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

「演習化学＋」　指導と評価の年間計画（教師用）

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	化学，化学基礎全範囲	標準問題演習	12	主体的に問題演習に取り組む。	探究的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験を仮定した問題の意味を理解し，解答することができる。	正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
		応用問題演習	12					
11		大学入試問題演習プリント	16					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	30					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習化学＋＋	普通科理系	3年（類型a選択者）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版　2021化学重要問題集		東京書籍・改訂化学 数研出版・フォトサイエンス化学図録 第一学習社・改訂セミナー化学基礎＋化学	

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

「演習化学＋＋」　指導と評価の年間計画（教師用）

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	化学，化学基礎全範囲	標準問題演習	10	主体的に問題演習に取り組む。	探究的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験を仮定した問題の意味を理解し，解答することができる。	正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
		応用問題演習	10					
11		難関大学入試問題演習プリント	30					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	20					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習生物＋	普通科理系	３年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	生物や生命現象について、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物学的に探究する考え方を身につけている。	生物や生物現象を分子レベルでとらえ、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を生物学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象について、広く概念や原理・法則を理解し、科学的な思考や判断を行える知識を身につけている。

「演習生物＋」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	生物基礎，生物全範囲	標準問題演習	12	主体的に問題演習に取り組む。	原理・原則に基づいて、探求的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験の内容を理解し、原理・原則を確かめることができる。	各分野に対する原理・原則を理解することができる。 正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
		応用問題演習	12					
11		大学入試問題演習プリント	16					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	30					

令和３年度　理科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習生物＋＋	普通科理系	３年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	生物や生命現象について、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物学的に探究する考え方を身につけている。	生物や生物現象を分子レベルでとらえ、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を生物学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象について、広く概念や原理・法則を理解し、科学的な思考や判断を行える知識を身につけている。

「演習生物＋＋」　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	生物基礎，生物全範囲	標準問題演習	12	主体的に問題演習に取り組む。	原理・原則に基づいて、探求的な内容の問題に，自ら考え取り組むことができる。	実験の内容を理解し、原理・原則を確かめることができる。	各分野に対する原理・原則を理解することができる。 正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
		応用問題演習	12					
11		大学入試問題演習プリント	16					
12 1 2		共通テスト対応入試問題演習	30					

令和３年度　保健体育科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
体育	普通科	３年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		ステップアップ高校スポーツ（大修館）	

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう，公正，協力，責任などの態度を身に付けるとともに，健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方。課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

「体　育」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　高志高等学校　普通科　第３学年

実施月	領域記号	領域の時数	領域名 領域の内容 【学習指導要領の内容】	主な学習活動	評価の観点および評価規準 関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解	評価方法	その他 留意点等
4 10	A	12	「A　体つくり運動} （1）次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ア　体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと。 イ　体力を高める運動では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。 （2）体つくり運動に主体的に取り組むと体力などの違いに配慮しようとする。また、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。更に合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 （3）体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	・サーキットトレーニング ・ウエイトトレーニング ・有酸的素運動	・実生活に役立てることができるよう、体力を高める運動の必要性を意識して学習に取り組もうとしている。 ・仲間と協力したり、励まし合ったりしながら運動に取り組もうとしている。 ・自分の体の調子を確かめたり、場所や用具の安全を確かめたりするなど、健康・安全に留意しようとしている。	・自分の体力のレベルや健康状態をもとに課題を設定している。 ・効率性を考えて運動の内容を選んだり構成したりして運動に取り組んでいる。 ・体つくり運動を生涯にわたって楽しむために、実生活で継続しやすい自己に適した行い方を見付けている。		・体力を高める運動の目的に合った運動の組み立て方、活用の仕方を理解し、実生活への取り入れ方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・仲間との協力状態 ・チェックテスト	○体育委員は以下の仕事を行う。 ・授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ・授業時に行うこと ①整列 ②挨拶 ③準備体操 （補強運動の指示） ○服装について 学校指定の体操服を着用すること （原則） ［冬季服装期間］ 4～5月前期中間考査①前 10月～3月 ［夏季服装期間］ 5月前期中間考査①後～10月まで ※気温により期間が変わることがある。 ○更衣場所（原則） 男子･･･教室 女子･･･第１体育館及び第２体女子更衣室
	B	0	「B　器械運動」 (1)次の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技できるようにする。 ア　マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。 イ　鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。 ウ　平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。 エ　跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと。 (2)器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。							
	C	0	「C　陸上競技」 (1)次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア　競争　短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ること、長距離走では、ペースの変化に対応するなどして走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズミカルに越すこと。 イ　跳躍　走り幅跳びでは、スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きをなめらかにして跳ぶこと、走り高跳びでは、スピードのあるリズミカルな助走から力強く踏み切り、滑らかな空間動作で跳ぶこと、三段跳びでは、短い助走からリズミカルに連続して跳ぶこと。 ウ　投てき　砲丸投げでは立ち投げなどから包含を突き出して投げること、やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げること。 (2)陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。							

	D	0	「D　水泳」 (1)次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア　クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ　平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ウ　背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 エ　バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 オ　複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすること。 (2)水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。							
4 5 6 9 10 11 12 1 2 3	E	78	「E　球技」 (1)次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ア　ゴール型では、状況に応じたボール操作と、スペースを埋めるなど、連携した動きにより、攻守の目まぐるしいゲームの展開ができるようにする。 イ　ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作、連携した動きによって空間を作りだすなど、攻防が展開できるようにする。 ウ　ベースボール型では、状況に応じたバット操作手と走塁での判断、安定したボール操作と状況に応じた守備などにより、攻防が展開できるようにする。 (2)球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。また合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	○サッカー ・個人的的技能 　キック　パス　トラップ　ドリブル　ボールコントロール ・グループ戦術　５対５　ポジショニング ・簡易ゲーム ・審判法 ○バスケットボール ・個人的技能　　パス　ドリブル　シュート ・グループ戦術 　オフェンス　ディフェンス　マンツーマン ・簡易ゲーム ・審判法 ○バレーボール ・個人的技能　　パス　サーブ　レシーブ　トス　アタック ・グループ戦術　ポジショニング ・簡易ゲーム ・審判法 ○バドミントン ・個人的技能　　ストローク　サービス ・ダブルス ・簡易ゲーム ・審判法 ○ソフトボール ・個人的技能 ・グループ戦術　　連係プレイ ・簡易ゲーム	・球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を晴らそうとしている。 ・合意形成に貢献している。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。 ・チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。	・ゴール型では、空間への侵入などから攻防を展開するため、状況に応じたボール操作や空間を埋める動きなどができる。 ・ネット型では、空間を作り出すなどの攻防を展開するため、状況に応じたボール操作や安定した用具の扱い方と仲間との連携した動きができる。 ・ベースボール型では、攻防を展開するため、状況に応じたバット操作と走塁での判断、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。	・技術や作戦などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・球技に関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・競技会の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・審判の方法について、学習した具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト 　（口答）
1 2 3	F	9	「F　武道 (1)次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防で展開ができるようにする。 ア　柔道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技･変化技を用いて素早く相手を崩して投げたり、抑えたり返したりするなどの攻防が展開できるようにする。 イ　剣道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防が展開できるようにする。 (2)武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。また、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	○柔道 ・受け身、投げ技、固め技練習 ・連続技練習 ・試合形式練習 ・審判法 ○剣道 ・基本打突 ・試合形式練習 ・審判法	・武道の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ・互いに助け合い高めあおうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、自己や仲間の課題を設定している。 ・練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 ・武道を生涯にわたって楽しむための自己や仲間に適した関わり方を見付けている。	・柔道では、素早く相手を崩して投げたり抑えたり、返したりするなどの攻防を展開するため、相手の多様な動きに応じた基本動作から得意技・変化技のいずれかができる。 ・剣道では、相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防を展開するため、相手の多様な動きに応じた基本動作から得意技ができる。	・武道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・技の名称や見取り稽古の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・武道に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・試合の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・審判の方法について、学習した具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト 　（口答）

1 2 3	G	9	「G　ダンス」 (1)次の運動について、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 ア　創作ダンスでは、表現したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができるようにする。 イ　フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせ多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊る。 ウ　現代的なリズムのダンスでは、全身でリズムの特徴を強調して自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊る。 (2)ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。また合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	・ダンスウォーミングアップ ・現代的なリズムのダンス ・即興表現 ・フォークダンス	・ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。 ・互いに共感し高め合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を晴らそうとしている。 ・合意形成に貢献している。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、目標に応じたグループや自己の課題を設定している。 ・仲間との交流や発表後の話し合いの場面では、互いの違いや良さを指摘し、合意形成するための調整の仕方を見付けている。 ・練習、交流や発表の場面で、健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・ダンスを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。	・創作ダンスでは、表現したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方で変化をつけて即興的表現をしたり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊るための動きができる。 ・フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で、仲間と対応して踊るための動きができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊るための動きができる。	・ダンスの名称や用語について、学習した具体例を挙げている。 ・文化的背景と表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・ダンスに関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・鑑賞の仕方について、学習した具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・仲間との協力状況	
7	H	6	「H　体育理論」 （3）豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。 ア　スポーツは、各ライフステージにおける身体的･心理的･社会的特徴に応じた楽しみ方があることや、その楽しみ方は個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することが理解できるようにする。 イ　生涯にわたりスポーツを継続するためには、自己に適した運動機会を持つことやライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方が必要であることを理解できるようにする。 ウ　スポーツの振興には、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを理解できるようにする。 エ　スポーツを行う際は、スポーツが環境にもたらす影響を考慮し、持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。	クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。		・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・スポーツ振興のための施策と諸条件について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・スポーツと環境について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	・出席状況 ・授業への取り組み態度 ・提出物 ・筆記試験	

「体　育」　指導と評価の年間計画

（年間指導時数　105時間）

学校名・学科・学年　高志高等学校　普通科　第３学年

単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
			関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
体つくり	実生活に役立てることができるよう、健康の保持増進や体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てることができる。	・サーキットトレーニング ・ウエイトトレーニン ・有酸素運動	・実生活に役立てることができるよう、体力を高める運動の必要性を意識して学習に取り組もうとしている。 ・仲間と協力したり、励まし合ったりしながら運動に取り組もうとしている。 ・自分の体の調子を確かめたり、場所や用具の安全を確かめたりするなど、健康・安全に留意しようとしている。	・自分の体力のレベルや健康状態をもとに課題を設定している。 ・効率性を考えて運動の内容を選んだり構成したりして運動に取り組んでいる。 ・体つくり運動を生涯にわたって楽しむために、実生活で継続しやすい自己に適した行い方を見付けている。		・体力を高める運動の目的に合った運動の組み立て方、活用の仕方を理解し、実生活への取り入れ方について、理解している。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・仲間との協力状態 ・チェックテスト	○体育委員は以下の仕事を行う。 ・授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ・授業時に行うこと ①整列 ②挨拶 ③準備体操 （補強運動の指示） ○服装について 学校指定の体操服を着用すること （原則） ［冬季服装期間］ 4～5月前期中間考査 ①前 10月～3月 ［夏季服装期間］ 5月前期中間考査 ①後 ～10月まで ※気温により期間が変わることがある。 ○更衣場所（原則） 男子－教室 女子－第１体育館及び 第２体女子更衣室
ダンス	フォークダンスや現代的なリズムのダンスを仲間と対応して踊ることができる。	・ダンスウォーミングアップ ・現代的なリズムのダンス ・即興表現 ・フォークダンス	・ダンスの楽しさや喜びを深く味わいながら学習に主体的に取り組もうとしている。 ・互いに共感し高め合おうとしている。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・仲間との交流や発表後の話し合いの場面では、互いの違いや良さを指摘し、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ・ダンスを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。	・フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊るための動きができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊るための動きができる。	・文化的背景と表現の仕方について理解しながら作品鑑賞ができ、実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・仲間との協力状況	
柔道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連続技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防が展開できるようにする。	・受け身、投げ技、固め技練習 ・連続技練習 ・試合形式練習 ・審判法	・柔道の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・互いに助け合い高めあおうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 ・柔道を生涯にわたって楽しむための自己や仲間に適した関わり方を見付けている。	・柔道では、素早く相手を崩して投げたり、抑えてり、返したりするなどの攻防を展開するための相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技・変化技のいずれかができる。	・柔道の伝統的な考え方や技の名称や見取り稽古の仕方について、理解している。 ・試合の仕方や、審判の方法について知っている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）	
剣道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防が展開できるようにする。	・基本打突 ・試合形式練習 ・審判法	・剣道の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・互いに助け合い高めあおうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 ・剣道を生涯にわたって楽しむための自己や仲間に適した関わり方を見付けている。	・剣道では、相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防を展開するための相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技ができる。	・剣道の伝統的な考え方や技の名称や見取り稽古の仕方について、理解している。 ・試合の仕方や、審判の方法について知っている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）	
サッカー	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入をするなど、攻防が展開するゲームができるようにする。	・個人的技能 キック　パス　トラップ ドリブル ボールコントロール ・グループ戦術 ５対５ ポジショニング ・簡易ゲーム ・審判法	・サッカーの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・合意形成に貢献している。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・サッカーを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。	・攻防を展開するために状況に応じたボール操作と空間を埋めたり空間に侵入したりする動きができる。 ・ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。	・サッカーに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。 ・実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）	

バスケットボール	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入をするなど、攻防が展開するゲームができるようにする。	・個人的技能 パス　ドリブル　シュート ・グループ戦術 オフェンス ディフェンス マンツーマン ・簡易ゲーム ・審判法	・バスケットボールの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・合意形成に貢献している。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・バスケットボールを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。	・攻防を展開するために状況に応じたボール操作と空間を埋めたり空間に侵入したりする動きができる。 ・ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。	・バスケットボールに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。 ・実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
バレーボール	状況に応じたボール操作と連携した動きによって空間を作り出すなど、攻防が展開したゲームができるようにする。	・基本的技能 パス（個人・対人） サーブ レシーブ トス アタック ・グループ戦術 ポジショニング ・簡易ゲーム ・審判法	・バレーボールの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・合意形成に貢献している。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・バレーボールを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。	・攻防を展開するための状況に応じたボール操作や連携した動きができる。 ・ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。	・バレーボールに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。 ・実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
バドミントン	安定したラケット操作と状況に応じた技能や作戦によって空間を作り出すなど、攻防が展開したゲームができるようにする。	・個人的技能 ストローク オーバーヘッド サイドアーム アンダーハンド サービス ロングサービス ショートサービス ・ダブルス ・簡易ゲーム ・審判法	・バドミントンの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・合意形成に貢献している。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・バドミントンを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。	・攻防を展開するための状況に応じたラケット操作と安定した動きができる。 ・ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。	・バドミントンに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。 ・実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
ソフトボール	状況に応じたバット操作と走塁での判断や、安定したボール操作と状況に応じた守備などによってゲームを展開し進めていくことができるようにする。	・個人的技能 打撃 守備 ・グループ戦術 連携プレイ ・簡易ゲーム ・審判法	・ソフトボールの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・合意形成に貢献している。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・ソフトボールを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。	・状況に応じたバット操作と走塁での状況判断、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。 ・ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。	・ソフトボールに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。 ・実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
体育理論	豊かなスポーツライフの仕方について理解できるようにする。	クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習　調べ学習	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。		・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・スポーツ振興のための施策と諸条件について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・スポーツと環境について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・筆記試験

令和3年度　英語科　指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
コミュニケーション英語Ⅲ	普通科	3年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
CROWN English Communication Ⅲ（三省堂）		CROWN　English Communication Ⅲ　WORKBOOK Advanced （三省堂）	

科目の目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし，社会生活において活用できるようにする。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，言語の背景にある文化などを理解している。

「コミュニケーション英語Ⅲ」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法（統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	13	Lesson 1 Life as a Journey	松尾芭蕉の作品における日本の自然美や人生における旅の持つ意味について	ア　日本語と英語で表現される俳句を鑑賞し、その違いを味わう。 イ　旅の厳しさと素晴らしさ、また旅が人生に与える影響について考え、意見を述べる。 ウ　各パラグラフの内容を理解して、話の流れをつかむ。 エ　ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①松尾芭蕉や俳句について、自分の知識や経験を積極的に紹介している。 ②旅を通して得られるものについての自分の意見を積極的に伝えようとしている。	①松尾芭蕉の旅の行程を正確に述べることができる。 ②自分の人生を旅にたとえた話を、聞き手に伝わるように語ることができる。	①松尾芭蕉が旅に出た心情、旅の行程、各地で読んだ句に込められた意図を読み取ることができる。 ②旅についての他者の意見を、正しく聞き取ることができる。	①自国の文化を学び、外国語で発信することの意義を理解している。 ②相手の意見に賛成したり反対したりする表現を身につけている。	・AD Task "You have to be poor and make long, hard journeys on foot to find poetic inspiration."	・言語活動の観察 ・発表・作文
5	11	Lesson 2 God's Hands	医師・天野篤が経験した困難や不断の努力について	ア　天野篤医師がこれまでに経験した苦難や努力の体験を読み取る。 イ　医師や医療の在り方についての自分の意見を発表する。 ウ　各パラグラフの内容を理解して、話の流れをつかむ。 エ　ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①医師や医療の在り方について考え、自分の意見を積極的に発表している。 ②医師や医療の在り方についての他者の意見を聞いて、賛成や反対の意見を表明している。	①天野医師の失敗の経験、努力の過程を正確に述べることができる。 ②失敗を成功に変えるには何をしなければいけないかについて述べることができる。	①天野医師の経験や天才と称される人の努力の大きさを読み取ることができる。 ②医師や医療の在り方についての他者の意見を正しく聞き取ることができる。	①判断の早さや的確さは経験に裏打ちされることを読み取ることができる。	・AD Task "To be good surgeons, it is not enough just to have good hands and a thorough knowledge of medicine."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
6	14	Lesson 3 Captured by Art	インスタレーションアートがもたらす新しい視点や芸術の役割について	ア　美術館ではなく街中に現れるインスタレーションアートを楽しみ、さらにそのアーティストが目指していることを読み取る。 イ　アートの定義、目的、意義について考え、意見を交換する。 ウ　各パラグラフで述べられている事実情報を読み取る。 エ　ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①自分の好きなアートや、芸術について思うことを自分のことばで伝えようとしている。 ②芸術の在り方やその受け止め方についての自分の独自の見解を、積極的に発表している。	①それぞれのアーティストの意図を整理し、そこから見出した共通点について、的確に述べることができる。 ②芸術についての自分の意見を正確に伝えようと、説得力のあることばを選んで伝えることができる。	①インスタレーションアートとそのアーティストが目指していること、それを見た人にもたらす効果を適切に読み取ることができる。 ②芸術についての他者の見解を、正しく聞き取ることができる。	①アートの定義について他者の意見も参考にして理解を深めることができる。 ②自分の第一印象について理由を挙げながら説明することができる。	・AD Task "Art does not reside in objects; it resides in the viewer."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文

7	12	Lesson 4 Does Money Make You Mean?	経済状況の違いが人の行動や感情に及ぼす影響について	ア　ポール・ピフがおこなった実験の内容と結果の概要や要点を正しく読み取る。 イ　経済状況の違いが人の行動に影響を及ぼすかどうか考え、発表する。 ウ　世界の経済格差の問題の改善策を話し合う。 エ　本文中の事実情報や筆者の主張を理解する。	①経済状態と人間心理についての他者の意見を聞き、それに対する自分の見解を積極的に発表している。	①本文中で行われた実験とその結果の概要や要点を、正確に述べることができる。 ②経済格差を緩和するための対策を考え、話し合うことができる。	①本文中で行われた実験と結果や、筆者の主張・提言を正しく読み取ることができる。 ②経済と人間心理についての他者の見解を、正しく聞き取ることができる	①経済的な倫理観について、時代や文化圏による差異を踏まえつつ、自分の意見を示すことができる。	・AD Task "Wealth has a bad effect on people, making them selfish and less sensitive to others."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
9	11	Lesosn 5 The Biggest Event in Human History…Or the Last?	急速に発達を遂げるAI（人工知能）が持つ可能性と危険性について	ア　AIの現状を知り、AIがもたらす利点と脅威について考える。 イ　AIとの共存のために人がすべきことを考え、提案する。 ウ　ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①AI（人工知能）についての知識を話すことができる。 ②人間とAIの関係についての他者の意見を聞き、それに対する自分の見解を積極的に発表している。	①本文で紹介されているAIの事例やAIの利点・問題点について正確に述べることができる。 ②本文に示された未来社会への警鐘について、自分の意見を述べることが出来る。	①本文中のAIの事例やAIの利点と問題点、およびAIと人間の関係を適切に読み取ることができる。 ②人間とAIの関係についての他者の意見を、正しく聞き取ることができる。	①自分の考えを、例を示しつつ英語で説明する。 ②AIの多様性や倫理的観点からの様々な見解を理解することができる。	・AD Task "Since human begins created AI, human beings will be able to control it."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
9 10	11	Lesson 6 Only a Camera Lens between Us	DDR（武装解除・動員解除・社会復帰）に携わる瀬谷ルミ子の活動について	ア　瀬谷ルミ子が現在の道に進むきっかけとなった出来事を読み取る。 イ　紛争後の平和構築における行程で必要なこと、大切なことを読み取る。 ウ　単に「助ける」ことが貢献でないことを理解し、社会貢献のあり方について考える。	①平和維持に必要なことや、その仕事に関わることについて、自分の考えを話している。 ②ボランティア活動において大切だと思うことを、積極的に他者と共有しようとしている。	①瀬谷さんのHelp という語に対する想いやDDRに携わるまでの経緯を正確に述べることができる。 ②困難な人の状況を想像し自分にできることを述べることができる。	①瀬谷さんが現在の道に進むきっかけや平和構築の行程において大切なことを正しく読み取ることができる。 ②「ボランティア」についての他者の意見を、正しく聞き取ることができる。	①ボランティアについて意見を述べるための表現を身につけている。	・AD Task "When helping people in trouble, it is not enough just to be kind. People must learn to help themselves."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
10	12	Lesson 7 Being Billingual	複数言語併用の現実や言語の統制・抑圧の事例から学ぶ自分自身および他者の母語の大切さについて	ア　日本にいると気づきにくい、世界の二言語併用の現実について理解する。 イ　母語をめぐって血が流された歴史を知り、それがアイデンティティーに関わる問題だと理解する。 ウ　日本で英語を公用語にすることや、日本で各言語のサービスを行うことについて、自分の意見を発表する。	①母語と外国語、方言と共通語、公用語などの、言語にまつわる問題について、積極的に考え意見を述べようとしている。 ②言語の多様性について他者と意見を共有しようとしている。	①他国の言語使用の状況、母語をめぐる過去の歴史、母語の日が制定された経緯を明確に説明できる。 ②言語の多様性、日本で英語を公用語とすることについて自分の立場を表明できる。	①世界の二言語併用の現実について、母語をめぐって血が流された歴史と理由について読み取ることができる。 ②言語の多様性を保つことについての他者の意見を聞き取ることができる。	①自分の意見を補強する情報を提供することができる。 ②母語をめぐる問題はアイデンティティーにかかわる問題だと理解する。	・AD Task "It is of great mportance to maintain linguistic diversity."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文

11	14	Lesson 8 The Magic of Reality	リチャード・ドーキンスの科学エッセイにおける物事を科学的に考えることの意義について	ア　不思議な出来事に出会ったときに依るべき判断の基準を正確に読み取り、またそうした態度が科学の発展に寄与してきたことを理解する。 イ　科学と「真実」の関係についての自分の意見を発表する。 ウ　世間で一般的に信じられていたことに反論した人物について学ぶ。	①超常現象や奇跡について、他者の意見を積極的に聞こうとしている。 ②科学的な考え方と「真理」について、他者と意見交換しようとしている。	①ドーキンスの主張する、事象に対する科学的な対処方法について正確に述べることができる。 ②科学的なものの見方についての自分の見解を、具体的にわかりやすく話すことができる。	①ドーキンスが例示した不思議な出来事に対する人々の態度や依るべき判断の基準を読み取ることができる。 ②科学的な考え方と「真理」についての他者の意見を聞き取ることができる。	①相手の意見を否定したり、自分の主張を補強したりする表現を身につけている。 ②世間で一般的に信じられていたことに反論した人物について学ぶ。	・AD Task "The only way to establish truth is through the scientific approach."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
12	13	Lesson 9 Green Revolution, Blue Revolution	世界を襲う水危機や自身が消費している「ヴァーチャルウォーター」の環境への影響について	ア　食料危機から水危機への流れを把握する。 イ　世界の水危機について理解する。 ウ　ヴァーチャルウォーターの概念と、その輸出入の利点を理解する。 エ　水危機の解決法について話し合う。	①Green Revolutionとはなにか、自由に発想して述べようとしている。 ②水危機に対する解決策を、他者と共有しようとしている。	①食糧危機から水危機への流れや、水危機の将来などについて述べることができる。 ②水危機やそのほかの危機について、対策を考えて述べることができる。	①食糧危機から水危機への流れ、ヴァーチャルウォーターの概念、その輸出入の利点を把握することができる。 ②水危機やそのほかの危機について、他者の考える対策を正しく理解することができる。	①自分の考えを論理的に説明する表現を身につけている。 ②水資源の確保と環境問題の歴史について、世界各地の水資源の供給法について学んでいる。	・AD Task "Water and food sufficiency are very big problems, but with good planning we can solve them."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
1	14	Lesson 10 Looking into the Eye of History	現職の米大統領として初めて被爆地・広島を訪れた、バラク・オバマ氏によるスピーチについて	ア　スピーチのことばや表現を鑑賞する。 イ　オバマ氏の平和に対する思いを読み取る。 ウ　スピーチを読み、感じたことを話し合う。	①分からないところを質問したり聞き返したりして積極的に理解しようとしている。 ②自分の考えや感じたことを意欲的に述べようとしている。	①スピーチの要旨を正しい英語で述べることができる。 ②スピーチの中で印象に残った表現を抜き出して、その理由について述べることができる。	①スピーチの概要や要点、話者の主張を適切に理解することができる。	①スピーチ（口語）独特の表現を理解している。 ②スピーチの歴史的背景を知る。	・Discussion "Which phrase impressed you the most?"	・言語活動の観察 ・発表・作文
2 3	15	Story 1 The Silent Miaow	ポール・ギャリコの小説について	ア　子ネコの作戦と人間の反応を正確に読み取る。 イ　セリフに込められた感情を読み取る。	①子ネコの作戦を楽しみながら、意欲的に読もうとしている。 ②理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	①あらすじを正しい英語でまとめることができる。 ②子ネコの silent miaow が男性に与えた影響について、的確に述べることができる。	①物語の展開を正しく把握することができる。 ②子ネコに対する男性の心情の変化を理解することができる。	①物語文の形式に親しむ。 ②擬人化された動物が語り手の物語を楽しむ。	・Discussion What do you think about the strategy the kitten adopted?"	・言語活動の観察 ・発表・作文
総時数	140									

令和３年度　英語科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語表現 Change the World	普通科	3年（類型ｂ、ｃ）	2

教科書（出版社・タイトル）	補助教材
なし	プリント

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら、社会の発展と人々の幸福・希望に貢献するための提案を発表する能力を伸ばす。

評価の観点および趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
様々な視点から自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が読んだり調べたりするうえで考えたことを、論理的にまとめ効果的な方法で相手に伝えることができる。	様々な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解している。	現代社会に関連した用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語表現 Change the World」(3年類型b，c)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 （統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	7	Society Business など	・現代日本におけるレンタルサービスの世界 ・仕事中のスマホ使用がもたらす弊害	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
5	7	Lifestyle Wellness Health など	・コーヒーの効用と飲料水の健康への影響 ・幸福度と長寿の関係 ・寝不足によるビジネスへの悪影響	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
6	7	Language Environment Technology など	・中国の英語標識に見られる誤訳 ・超極細繊維による海洋汚染 ・安全で安価な宇宙旅行	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査

「英語表現 Change the World」(3年類型b，c）指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 （統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	7	Society Business など	・寄付して利益を上げる新しいビジネスモデル ・ホームレス支援の方法	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
9	7	Lifestyle Wellness Health など	・記憶を呼び覚ます音楽の力 ・人生を変える片付けの極意 ・海外から見た日本の給食	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
10	7	Language Environment Technology など	・高校生が考案した昼食時のいじめをなくすアプリ ・人口減の日本を支援する人型ロボットの開発 ・体の部位は何でも作れる3Dプリンター	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
11	7	Society Business など	・ネットストアに対抗する十店舗の営業秘策 ・世界の子どもたちへの支援 ・新たなネットビジネス	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査

「英語表現 Change the World」(3年類型b，c)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 （統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
12	7	Lifestyle Wellness Health　など	・ストレス解消法 ・炭酸飲料と老化の関係 ・アメリカ男性の家事事情	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ　英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ　関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
1	7	Language Environment Technology　など	・Single-Use Plastic Bagsの禁止 ・オンラインプライバシー ・デジタル時代における手書きの力	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ　英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ　関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
2	7	Lifestyle Wellness Health　など	・海外で成長する日本食 ・仕事中の姿勢と健康被害	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ　英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ　関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
総時数	70									

令和３年度　英語科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語表現 Change the World +	普通科	3年（類型ａ）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材	
なし		プリント	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら、社会の発展と人々の幸福・希望に貢献するための提案を発表する能力を伸ばす。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
様々な視点から自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が読んだり調べたりするうえで考えたことを、論理的にまとめ効果的な方法で相手に伝えることができる。	様々な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解している。	現代社会に関連した用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語表現 Change the World +」(3年類型a) 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 （統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	7	Life ～自らの生活を見直し、改善策について提案しよう～	・自国のスーパーフード ・ITと教育 ・食生活	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
5	7	Environment ～環境問題の解決策を提案しよう～	・地球温暖化と気候変動を極地の変化から考える ・海洋開発と自然保護	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
6	7	Technology ～新たな技術や活用方法について提案しよう～	・自動運転技術 ・3Dプリンターの医療利用	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査

「英語表現 Change the World +」(3年類型a) 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 （統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	7	Society ～社会の諸事情について考え、改善策、新たな方法を提案しよう～	・貧富の差の改善 ・社内公用語の英語化 ・海外でのボランティア活動	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
9	7	Life ～自らの生活を見直し、改善策について提案しよう～	・食品ゴミ ・水資源の再利用 ・自然災害への対策	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
10	7	Environment ～環境問題の解決策を提案しよう～	・ゴミ処理の有効な方法 ・観光開発と自然保護	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
11	7	Technology ～新たな技術や活用方法について提案しよう～	・ドローンの活用方法 ・バーチャルリアリティー	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査

「英語表現 Change the World +」(3年類型a) 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 （統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
12	7	Society ～社会の諸事情について考え、改善策、新たな方法を提案しよう～	・ポップカルチャーと伝統文化 ・グローバル化と保守主義 ・日本で独自に発展した海外文化	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
1	7	Technology ～新たな技術や活用方法について提案しよう～	・ウェアラブルの進化 ・ロボットの発展に伴う仕事の変化 ・宇宙旅行	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
2	7	Society ～社会の諸事情について考え、改善策、新たな方法を提案しよう～	・贅沢税 ・海外での日本食ブーム ・訪日外国人の増加による影響	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙･表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
総時数	70									

令和３年度　英語科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語錬成IP	普通科理系	３年（類型ｂ、ｃ）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材	
なし		(1)テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等のメディア，情報通信ネットワーク，学術機関等で取り上げられている内容 (2)外部検定試験，最難関大学入試問題	

科目の目標	英語を通じて，積極的に情報を収集し，それを基に他者と考えを共有しようとする態度を育成するとともに，事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し，論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら，社会を取り巻く環境の変化やその対応について建設的な議論を展開する能力を伸ばす。

評価の観点および趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
社会情勢や世界の諸問題について，また，様々な分野における科学技術の統合的利活用の事例について，積極的に情報を収集したり，他者と意見を共有しようとしている。	英語を聞いたり読んだりして得た情報や自分が調べたり考えたりしたことなどを，根拠や具体例を含めて論理的にまとめ，効果的な方法で相手に伝えたり，議論・討論することができる。	英語を聞いたり読んだりして，情報や筆者／話し手の意図などを的確に理解している。	アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに，その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語錬成Integrated Practice」(3年)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 （統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4 5	5	History / Culture	①人類の発展と環境への影響 ②ネルソン・マンデラ：多人種国家の設立	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，環境に配慮した持続可能な生活様式について調べ，得た情報をグループで共有する。 ウ ネルソン・マンデラが多人種国家設立のためにどのように取り組んできたかを読み解き，世界平和の実現について意見を交換する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②環境問題や世界平和についてのレポートを書き，発表することができる。	①「清潔さ」を判断するのは社会的信念や時代の考え方であること，現在の人々の清潔な生活が実は環境を汚染していることを読み取ることができる。 ②ネルソン・マンデラが今日に至るまで平和の象徴とされている背景を読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②環境問題や世界平和について議論したり，発表する際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
5 6 7	9	History / Culture	①人間の思考や行動に対する衣服の影響 ②コミュニケーション：近接学	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，「着衣の認知」についての事例や自身の経験，考えを共有する。 ウ 読んだことに基づき，「近接学」についての事例や自身の経験，考えを共有する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「着衣の認知」や「近接学」についてのレポートを書き，発表することができる。	①「着衣の認知」とは何か，また，本文で述べられている実験の内容や結果を読み取ることができる。 ②「近接学」とは何か，また，その認識に基づき，個人や企業がどのような取り組みをしているかを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②心理作用についてのレポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査

9	2	History / Culture	ジェンダーと文化	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 色による男女の区別の背景について読んだことに基づき，自身の意見や考えを交換する。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「色と男女の区別」についてのレポートを書き，発表することができる。	色による男女の区別の背景について，どのように変化してきたのかを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②ジェンダーについて議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
10 11	8	Society / Science	①食糧問題の本質 ②食品の選択肢	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，食糧問題の背景について，自身の意見や考えを共有する。 ウ 読んだことに基づき，食品の選択肢としての虫の利点について調べ，得た情報をグループで共有する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「食糧問題」や「持続可能な食の選択」についてのレポートを書き，発表することができる。	①食糧問題の本質について、関連する様々な要因を読み取ることができる。 ②食品の選択肢について，虫がどのような点で最良と言えるのかを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②食糧問題や持続可能な食の選択について議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
12	3	Society / Science	移民の多様化とその対応	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 移住の背景の変遷や今日の移住について，自身の意見や考えを共有する。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「移住」や「移民」についてのレポートを書き，発表することができる。	移住の背景が様々に変化してきたこと，移住に対する人々の考えを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②国境を越えた移動，とりわけ移住について議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査

1	4	Society / Science	国立公園：野生生物と観光産業，経済的発展	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 野生生物と観光産業を維持と，人々の発展の双方を可能にするためのタンザニアの決定について，他の事例も踏まえながら自身の意見や考えを交換する。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「環境保護」や「産業の維持」と「人々の発展」の両立についてのレポートを書き，発表することができる。	国立公園を横切る道路の建設について，どのような議論がなされ、中止となったのか，その利点や懸念される点を含め，議論の背景を読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②環境保護や産業の維持，人々の発展について議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
2	4	Society / Science	イグノーベル賞の副次的効果	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 科学的研究の意義やおもしろさについて，他の事例も踏まえながら自身が関心を持っている研究についての情報や意見を交換する。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②関心のある科学的研究やその意義についてのレポートを書き，発表することができる。	イグノーベル賞とは何か，どのような研究がこれまでにこの賞を受賞してきたか，また，受賞の副次的効果は何かを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②科学的研究の意義やおもしろさについて議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
総時数	35									

令和３年度　英語科　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語錬成IP+	普通科理系	３年（類型ａ）	1

教科書（出版社・タイトル）	補助教材
なし	(1)テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等のメディア，情報通信ネットワーク，学術機関等で取り上げられている内容 (2)外部検定試験，最難関大学入試問題

科目の目標	英語を通じて，積極的に情報を収集し，それを基に他者と考えを共有しようとする態度を育成するとともに，事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し，論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら，社会を取り巻く環境の変化やその対応について建設的な議論を展開する能力を伸ばす。

評価の観点および趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
社会情勢や世界の諸問題について，また，様々な分野における科学技術の統合的利活用の事例について，積極的に情報を収集したり，他者と意見を共有しようとしている。	英語を聞いたり読んだりして得た情報や自分が調べたり考えたりしたことなどを，根拠や具体例を含めて論理的にまとめ，効果的な方法で相手に伝えたり，議論・討論することができる。	英語を聞いたり読んだりして，情報や筆者／話し手の意図などを的確に理解している。	アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに，その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語錬成Integrated Practice+」(3年)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法（統合的な評価を含む）
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4 5	5	Health and Psychology	①ストレスと健康 ②食欲とその制御方法	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，ホルミシスから利益を得る最良の方法について調べ，得た情報をグループで共有し，意見を交換する。 ウ 食欲の効果的な制御方法について意見を交換する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②心身の健康についてのレポートを書き，発表することができる。	①「ホルミシス」とは何か，またその効果は何か，そこから利益を得るための方法を読み取ることができる。 ②人々と食糧の関わりの背景や，食欲の制御方法について様々な研究が行われていることを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②心身の健康について議論したり，発表する際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
5	2	Health and Psychology	人間の思考や行動に対する衣服の影響	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，「着衣の認知」についての事例や自身の経験，考えを共有する。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「着衣の認知」についてのレポートを書き，発表することができる。	「着衣の認知」とは何か，また，本文で述べられている実験の内容や結果を読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②心理作用についてのレポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
6 7	7	Nature and Life	①動物の社会的関係と家族関係 ②森林を破壊しない農業・耕作	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，カラスの集団採食行動と，カラス同士の社会的関係や家族関係との関係について意見や考えを交換する。 ウ 読んだことに基づき，持続可能な耕作方法についての事例や考えを共有する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「動物の社会的関係」や「持続可能な耕作方法」ついてのレポートを書き，発表することができる。	①カラスの集団採食行動や社会的関係，家族関係との関わりや，血縁に対する優しさの背景を読み取ることができる。 ②マヤ族の破滅の背景や持続可能な耕作方法の確立の手立てを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②動物の個体間の関係や持続可能な耕作方法についてのレポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査

9	2	Nature and Life	環境問題と生態系に関する取り組み	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ　動植物の種と生態系の関わりやそれらを守るための取り組みについて読んだことに基づき，自身の意見や考えを交換する。 ウ　関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「動植物の種と生態系の関わり」や「レッドリストの作成」についてのレポートを書き，発表することができる。	動植物の種と生態系の関わりや，生物多様性と私たちの生活の関わりを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②環境や生態系について議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
10 11	8	Nature and Life	動物園の是非	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ　読んだことに基づき，動物園の是非について，双方の立場で議論する。 ウ　関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「動物園の是非」についてのレポートを書き，発表することができる。	①動物園反対論者の意見やその背景にある考えを読み取ることができる。 ②動物園擁護派の意見やその根拠となる事例を読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②動物園の是非について，倫理・健康・環境など様々な観点で議論する際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
12	3	Social / Global Issues	飢餓の原因	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ　読んだことに基づき，飢餓問題の解決について，自身の意見や考えを交換する。 ウ　関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「食糧問題」や「平等な分配」についてのレポートを書き，発表することができる。	飢餓の原因について、これまで事実とされてきた内容や，筆者がそれらを俗説であるする背景を読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②食糧問題や平等な分配について議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査

1	4	Social / Global Issues	①世界のエネルギー事情 ②就職競争と格差	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，日本のエネルギー政策について，他の事例も踏まえながら自身の意見や考えを交換する。 ウ グローバル化と就職競争について，読んだことに基づき，その背景を確認する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②「エネルギー政策」や「就職競争」についてのレポートを書き，発表することができる。	①原油と天然ガスの違いについて，環境への影響や「多元的供給源」の観点で読み取ることができる。また，米国のジェールガス革命による他国への影響を読み取ることができる。 ②高度な技術の価格競争の背景を読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②エネルギー政策や就職競争における世界情勢について議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
2	4	Social / Global Issues	安楽死と自殺ほう助	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し，聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき，安楽死と自殺ほう助の実施上の区別を確認する。 ウ 積極的安楽死の是非について，双方の立場で議論する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し，感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②他者の意見に反論し，多様な観点から自分の考えを深めようとしている。 ③理由や具体例等を挙げ，積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき，英語で意見や考えを相手にわかりやすく，説得性を持たせながら説明することができる。 ②他国の安楽死に関する見解や法律，事例についてのレポートを書き，発表することができる。	実施における安楽死と自殺ほう助の区別，終末期患者のケアに携わる医療従事者に求められることは何かを読み取ることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②医療倫理や生命倫理について議論したり発表したりする際に使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて，口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ，その是非について意見を述べ合う活動 ・他者の意見に反論し，多様な観点から考えを深める活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
総時数	35									

令和３年度　総合選択　指導と評価の年間計画

学校名　福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
論文演習	普通科理系	3年（後期）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		プリント等	

科目の目標	小論文問題の様々な出題形式に慣れるとともに、小論文展開の基本的パターンを理解した上で、問題に応じてそのパターンを自ら選択し、論理的に自分の主張を組み立てる力を育成する。また、自分の志望理由について文章にまとめたり、面接等で伝えたりする力も育成する。

評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	書く能力 読む能力 話す・聞く能力	知識・理解
・言葉や論理の展開に関心を持っている。 ・自分の文章を内容の深いものにするために、進んで読書・探究活動を行おうとしている。 ・積極的に自分の意見や考えが表現できる。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、指示に従い、論理展開の整った文章を書くことができている。 ・内容や表現の特色を理解して文章を読み、与えられた文章の概要を把握することができている。 ・質問をよく理解した上で、自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。	・表記、語句、論理展開の基本を理解して、身に付けている。 ・自分の関心の高い分野の基本的知識を正確に理解している。

評価方法	【関 心・意 欲】出席状況、授業態度、課題や小テスト等への取組状況 【学習到達度】課題（面接）の評価点

読解・表現（国語・英語）　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　福井県立高志高等学校　普通科（文系）３年

実施月	単元名	教材名	指導事項 ア	イ	ウ	エ	オ		単元の目標	具体の評価規準（評価方法） 関心・意欲・態度（評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力（評価方法）	知識・理解（評価方法）	単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考（他教科との関係、学校図書館の活用、ＩＣＴの活用等）
4～5	《現代文》 随筆を読む 《古文》 歌論を読む 《漢文》 詩文を読む	《評論》 「ありがとうもごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと」 《古文》 「蔵書目録」 《漢文》 「黄生借書説」	◎	○				10	《現代文》 ボルネオ島の狩猟採集民とのフィールドワークから、豊かさ、自由、幸せとは何かを根本的に問い直す。 《古文》 江戸末期の蔵書家の書いた文章をもとに、和歌を含んだ古文の読解力を養う。 《漢文》 清朝を代表する文人の書いた文章をもとに、漢文を解釈することの面白さを感じさせる。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。 （定期考査など）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、様々な表現技法の効果や意図について話し合う。	
中間考査①														
6～7	《現代文》 評論を読む 《現代文》 対談を読む 《古文》 歌論を読む	《評論》 「科学思想史の哲学」 《対談》 「詩の誕生」 《古文》 「三のしるべ」		○	◎			13	《評論》金森修が、近代科学の成立の経緯について著した文章を読んで、筆者の主張を読み取る。 《対談》大岡信と谷川俊太郎の対談を読み、二人の詩に対する考え方を読み取る。 《古文》江戸時代後期の国学者の歌論を読み、和歌を読み解く力を養成する。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、様々な表現技法の効果や意図について話し合う。	
中間考査②														
8～9	《現代文》 評論を読む 《古文》 俳文を読む 《漢文》 思想を読む	《評論》 「科学と非科学のはざまで」 《古文》 「俳諧世説」 《漢文》 「明夷待訪録」		◎	○			12	《評論》中屋敷均の書いた文章をもとに、秩序と無秩序の間で生まれる生命現象、科学の営為、人間の営みについての筆者の主張を読み取る。 《古文》江戸時代の俳人、高桑闌更の文章を読み、エピソードの内容を読み取りながら、筆者の俳諧に対する見方を学ぶ。 《漢文》明代末の思想家で、「中国のルソー」と呼ばれた黄宗義の文章を読み、筆者の主張を読み取りながら、民本主義について学ぶ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 (行動の観察)	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、様々な表現技法の効果や意図について話し合う。	
期末考査														
4単位　140時間の場合の例								35						

令和３年度　サイエンスフロンティア　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	科目名	対象学年	単位数
ＫｏＡ－Ｓ・Ⅲ	普通科（高入生）	３年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	①前年度の研究結果を踏まえて，研究テーマ・コアテーマの再検討を行い的確な研究計画を立て，グループ内やグループ間で協力して課題研究に取り組む。 ②課題研究を通して，調査研究やデータ処理，分析・まとめ・発表・議論など課題解決に必要な能力を習得する。 ③継続して取り組んだ課題研究を通して，科学的探究能力，問題解決能力を向上する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
・幅広い問題に関心を持ち，自身の研究テーマと関連づけて，探究を深めることができる。 ・積極的に質問や議論を行い，相互に理解を深め研究の質を向上させることができる。	・調査・研究・観察・実験等を通して，事象を客観的に捉え，分析的・総合的に考察して，根拠を示して論理的に表現できる。 ・他の研究を正確に理解し，自らの意見や質問を論理的に表現することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し，改善を重ねて科学的に探究することができる。	・自分たちの調査研究や他のグループからの指摘などを理解し，適切に活用して研究を深化させることができる。

「ＫｏＡ－Ｓ・Ⅲ」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　　福井県立高志高等学校・普通科・３年

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
４月	ガイダンス	・年間計画の確認。 ・研究の現状と課題の確認。 ・研究計画の確認	2	・各グループのテーマとコアテーマを理解し、建設的な議論を行っている。	・全体計画と各自・各班の課題を把握し，適切に方針を立て，具体的に計画している。	・研究課題や現状を的確に把握・分析し，具体的かつ現実的な実験計画に反映している。	・各自がグループの目標や研究手法，課題等について正確に理解している。	実験計画書
４月 ～ ７月	課題研究・発表準備	・グループ毎に，適切に計画管理しながら実験・観察・調査を行う。 ・分科会，ポスター，全体会各発表形式にあわせた発表準備を行う。	8	・自ら研究課題に意欲的に取り組むとともに、進捗の全体を共有しつつ適切に役割分担し，協力して取り組んでいる。 ・自分たちの研究成果を聴衆や論文の読み手に，的確に届けることに関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	・実験結果を論理的・科学的に考察している。 ・適切に相互理解をして議論を進めることができる。 ・相手にわかりやすく伝わるよう情報機器を活用したり資料を工夫したりしている。	・精度や再現性に配慮して，適切に実験・測定を行っている。 ・考察や議論，論文作成などに必要な情報を，適正かつ的確に収集・記録している。	・結果の分析や議論に必要な知識を主体的に求め，身に付けている。	中間報告会
７月	研究活動発表会	・２年次の発表（中間発表）を聞いた生徒に，その後の進展と結論がよく伝わるよう留意する。 ・論文作成や，今後の発表会等に向けて有益な情報交換ができるよう留意する。	6	・自分たちの研究成果を伝えることに主体的，意欲的に取り組んでいる。 ・議論から次の研究課題を得ることを意識して取り組んでいる。 ・他の発表を意欲的に聞き，積極的に議論して相互に理解を深めようとしている。	・相手やその反応に応じて，的確に伝えることができるよう考えて発表している。 ・情報機器や資料などを効果的に活用して表現している。	・発表を正しく理解し，適切な質問や議論ができる。	・自分の発表内容を正しく理解し，自分の言葉で伝えることができる。 ・他の発表を正しく理解し，疑問点等を整理することができる。	発表資料 要旨原稿
７月 ～ ９月	論文作成	・各種の発表会等で得た指摘等に対応して研究を深め，２年次からの研究全体を適切にまとめる。 ・形式，内容とも整った論文に仕上げる。 ・特に，参照文献，引用文献，追試可能な情報の記載などに留意する。	8	・研究全体を的確に把握・整理して意欲的に取り組んでいる。	・研究の目的，方法，結果，考察，成果，意義などを論理的にまとめている。 ・図版，グラフ，写真などを適切に活用しわかりやすい表現を工夫している。	・必要な形式・内容を満たした上で，読みやすく，わかりやすくまとめている。	・研究内容を正しく理解し，自分の言葉で伝えることができる。 ・論理的でわかりやすい論文とするために，記述すべきことや表現の基本を理解している。	研究レポート
９月 ～ １１月	学びの報告書・設計書作成	・３年間の探究活動を振り返る。 ・３年間の探究活動をふまえて，大学等における学びの展望を考察する。	6	・現代社会において幅広く豊かな感性が育てられている。 ・表現活動を通して、考えを的確に表現し議論し理解する意欲や態度が育てられている。	・現代社会における様々な課題について調べ議論した成果をいかして、考えを的確に表現し議論し理解し合う能力が高まっている。	・課題について科学的に考察し、協同して課題解決を図ってきたことを振り返る技能が高まっている。	・作成する活動を通して、課題解決を図る能力が育てられている。	学びの報告書 学びの設計書
１２月 ～	探究の継続	発表・討論・小論文等，各自で課題を設定して演習に取り組むことで，探究活動で身につけた力を深化する。	5	・学びの報告書・設計書をふまえて，関心・意欲・態度が育てられている。	・学びの報告書・設計書をふまえて，思考・判断・表現する力が高まっている。	・学びの報告書・設計書をふまえて，観察・実験の技能が高まっている。	・学びの報告書・設計書をふまえて，知識・理解する力が高まっている。	各自の課題 行動観察

令和３年度　サイエンスフロンティア　指導と評価の年間計画

学校名　　福井県立高志高等学校

科目名	科目名	対象学年	単位数
ＫｏＡ－R・Ⅲ	普通科（内進生）	３年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	①前年度の研究結果を踏まえて，研究テーマ・コアテーマの再検討を行い的確な研究計画を立て，グループ内やグループ間で協力して課題研究に取り組む。 ②課題研究を通して，調査研究やデータ処理，分析・まとめ・発表・議論など課題解決に必要な能力を習得する。 ③継続して取り組んだ課題研究を通して，科学的探究能力，問題解決能力を向上する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
・幅広い問題に関心を持ち，自身の研究テーマと関連づけて，探究を深めることができる。 ・積極的に質問や議論を行い，相互に理解を深め研究の質を向上させることができる。	・調査・研究・観察・実験等を通して，事象を客観的に捉え，分析的・総合的に考察して，根拠を示して論理的に表現できる。 ・他の研究を正確に理解し，自らの意見や質問を論理的に表現することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し，改善を重ねて科学的に探究することができる。	・自分たちの調査研究や他のグループからの指摘などを理解し，適切に活用して研究を深化させることができる。

「ＫｏＡ－Ｒ・Ⅲ」　指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年　　福井県立高志高等学校・普通科・３年

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
４月	ガイダンス	・年間計画の確認。 ・研究の現状と課題の確認。 ・研究計画の確認	2	・各グループのテーマとコアテーマを理解し、建設的な議論を行っている。	・全体計画と各自・各班の課題を把握し，適切に方針を立て，具体的に計画している。	・研究課題や現状を的確に把握・分析し，具体的かつ現実的な実験計画に反映している。	・各自がグループの目標や研究手法，課題等について正確に理解している。	実験計画書
４月 ～ ７月	課題研究・発表準備	・グループ毎に，適切に計画管理しながら実験・観察・調査を行う。 ・分科会，ポスター，全体会各発表形式にあわせた発表準備を行う。	8	・自ら研究課題に意欲的に取り組むとともに、進捗の全体を共有しつつ適切に役割分担し，協力して取り組んでいる。 ・自分たちの研究成果を聴衆や論文の読み手に，的確に届けることに関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	・実験結果を論理的・科学的に考察している。 ・適切に相互理解をして議論を進めることができる。 ・相手にわかりやすく伝わるよう情報機器を活用したり資料を工夫したりしている。	・精度や再現性に配慮して，適切に実験・測定を行っている。 ・考察や議論，論文作成などに必要な情報を，適正かつ的確に収集・記録している。	・結果の分析や議論に必要な知識を主体的に求め，身に付けている。	中間報告会
７月	研究活動発表会	・２年次の発表（中間発表）を聞いた生徒に，その後の進展と結論がよく伝わるよう留意する。 ・論文作成や，今後の発表会等に向けて有益な情報交換ができるよう留意する。	6	・自分たちの研究成果を伝えることに主体的，意欲的に取り組んでいる。 ・議論から次の研究課題を得ることを意識して取り組んでいる。 ・他の発表を意欲的に聞き，積極的に議論して相互に理解を深めようとしている。	・相手やその反応に応じて，的確に伝えることができるよう考えて発表している。 ・情報機器や資料などを効果的に活用して表現している。	・発表を正しく理解し，適切な質問や議論ができる。	・自分の発表内容を正しく理解し，自分の言葉で伝えることができる。 ・他の発表を正しく理解し，疑問点等を整理することができる。	発表資料 要旨原稿
７月 ～ ９月	論文作成	・各種の発表会等で得た指摘等に対応して研究を深め，２年次からの研究全体を適切にまとめる。 ・形式，内容とも整った論文に仕上げる。 ・特に，参照文献，引用文献，追試可能な情報の記載などに留意する。	8	・研究全体を的確に把握・整理して意欲的に取り組んでいる。	・研究の目的，方法，結果，考察，成果，意義などを論理的にまとめている。 ・図版，グラフ，写真などを適切に活用しわかりやすい表現を工夫している。	・必要な形式・内容を満たした上で，読みやすく，わかりやすくまとめている。	・研究内容を正しく理解し，自分の言葉で伝えることができる。 ・論理的でわかりやすい論文とするために，記述すべきことや表現の基本を理解している。	研究レポート
９月 ～ １１月	学びの報告書・設計書作成	・３年間の探究活動を振り返る。 ・３年間の探究活動をふまえて，大学等における学びの展望を考察する。	6	・現代社会において幅広く豊かな感性が育てられている。 ・表現活動を通して、考えを的確に表現し議論し理解する意欲や態度が育てられている。	・現代社会における様々な課題について調べ議論した成果をいかして、考えを的確に表現し議論し理解し合う能力が高まっている。	・課題について科学的に考察し、協同して課題解決を図ってきたことを振り返る技能が高まっている。	・作成する活動を通して、課題解決を図る能力が育てられている。	学びの報告書 学びの設計書
１２月 ～	探究の継続	発表・討論・小論文等，各自で課題を設定して演習に取り組むことで，探究活動で身につけた力を深化する。	5	・学びの報告書・設計書をふまえて，関心・意欲・態度が育てられている。	・学びの報告書・設計書をふまえて，思考・判断・表現する力が高まっている。	・学びの報告書・設計書をふまえて，観察・実験の技能が高まっている。	・学びの報告書・設計書をふまえて，知識・理解する力が高まっている。	各自の課題 行動観察